

令和5年度  
和歌山県  
市町村行政DX推進事業に係る  
人材確保・育成支援業務  
最終報告書



共創法人 CoCo Socialwork

2024年3月28日現在



## I. 本業務の目的と実施方針

## II. 実績報告

仕様書及び県との協議に基づく業務内容と進捗

(1) DX総括アドバイザー及びDX専門アドバイザー等の配置

(2) 市町村への「よろず相談」の実施

よろず相談実施スケジュール

ア：現状把握のアセスメントシートの作成

イ：「よろず相談」の実施

- ・初回面談
- ・全体相談
- ・分野別相談（1回目）

(3) DX研修の実施と研修動画の制作

- ・トップセミナーの実施
- ・個別研修の実施
- ・研修動画の制作

(4) 次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案等

- ・次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案
- ・その他

(5) 自由提案

- ・DX専門アドバイザー(データ利活用担当)の実質配置
- ・合同研修会の実施
- ・振興局への訪問と連携
- ・デジタル社会推進課との連携
- ・制度活用支援の実施

## III. 総括

## 本業務の目的と実施方針



## 【目的】

DX推進に係る市町村職員の認識共有・機運醸成を図り、各団体の現状把握と課題整理を行うことで、各団体のDXと県・市町村連携の促進を目指すこと



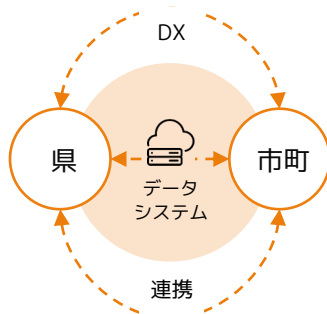
私たちが、「市町村行政DX推進事業に係る人材確保・育成支援業務」においてご提案する3つのモデルについてご説明します。これらのご提案は、私たちが今回の和歌山県様の公募に応募した理由であり、思いでもあります。今までの和歌山県様の市町村DXの取り組みも踏まえて、以下の3つのご提案をします。

## 進取の気性の県民性を活かし、県・市町村が、真のデジタル変革 を実践するための人・組織・仕組づくり



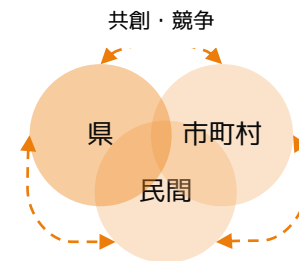
### 地味でも着実な 人・組織・仕組づくり

「デジタル敗戦」と国が認めたのは、2020年10月でした(当時のデジタル改革担当大臣)。2001年にe-Japan戦略で「世界最先端のIT国家になる」と宣言したにもかかわらず、なぜ我が国は負けたのでしょうか？それは、削ることのみで現状を維持しようとし、デジタル化の基盤となる人・組織・仕組づくりを軽視し、目先の「キラキラ」した取組ばかりを追い求めてきた結果です。現在、日本国中が「DX」の言葉に踊らされ、国の補助金・交付金目当ての「キラキラ」事業が花盛りです。大半の自治体が目先の「キラキラ」に踊らされている今だからこそ、敢えて地味でも着実な人・組織・仕組づくりを支援することを提案します。真の「キラキラ」は盤石な土台の上で花開くと確信しています。



### 進取の気性による 真のデジタル変革

和歌山県長期総合計画によると、2026年に89.4万人の人口を確保するとあります。しかし、推計人口から推測すると2023年中に目標値を割ることはほぼ確実です。この結果からわかることは、既存の手法の延長線上には、衰退しがなく、抜本的な「変革」なくして、目指す未来は実現しないという現実です。「DX(デジタル変革)」とは、県民等がデジタル技術も活用して、県民本位の行政・地域・社会を再構築するプロセスです。技術導入自体が目的であっては決してなりません。和歌山県民には進取の気性があります。そこで、既存の常識に捉われない、市町村連携による真のデジタル変革を視野に入れた事業を提案します。



### 県・市町村・民間 “境界を超えた”きょうそう

デジタルの真骨頂は、あらゆる境界を無くして、人々を様々な制約から解放することです。これがデジタル技術が手段として変革を促進する所以です。また、DXは閉鎖的な組織からは生まれません。そこで、県・市町村・民間等が、組織等の境界を超えて、価値創造と課題解消を目指す「共創」と、お互いを高め合える程よい「競争」を促す機運を醸成することを提案します。

県民みんなが楽しく暮らすために「世界とつながる 愛着ある元気な和歌山」を目指しましょう。

# 実績報告

# 仕様書及び県との協議に基づく業務内容と進捗



業務内容	進捗	目標値	実績値	単位	備考
<b>(1) DX総括アドバイザー及びDX専門アドバイザー等の配置</b>					
ア：DX総括アドバイザーの配置	100%	2	2	人	
イ：DX専門アドバイザーの配置	100%	4	4	人	
ウ：補助スタッフの配置	100%	2	2	人	
<b>(2) 市町村への「よろず相談」の実施</b>					
ア：現状把握のアセスメントシートの作成	100%	30	30	市町村	
イ：「よろず相談」の実施					
・初回面談(オンライン)	100%	30	30	市町村	
・全体相談(訪問)	100%	30	30	市町村	
・分野別相談(オンライン)	100%	30	30	市町村	
・任意相談(オンライン+訪問)	100%	30	30	市町村	
・評価面談	100%	30	30	市町村	
<b>(3) DX研修の実施と研修動画の制作</b>					
・トップセミナーの実施	100%	1	1	回	
・個別研修の実施	100%	28	28	市町村	2自治体については希望により実施せず
・研修動画の制作	100%	1	1	件	
<b>(4) 次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案等</b>					
・次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案	100%	1	1	件	
・その他					随時対応中
<b>(5) 自由提案</b>					
・DX専門アドバイザー(データ利活用担当)の実質配置	100%	1	1	人	
・合同研修会の実施	100%	2	2	回	
・振興局への訪問と連携	100%	7	7	振興局	5/22 追加提案
・デジタル社会推進課との連携	100%	30	30	市町村	5/22 追加提案
・総合支援(制度活用支援含む)の実施	100%	22	22	市町村	9/11 追加提案

# (1) DX総括アドバイザー及びDX専門アドバイザー等の配置



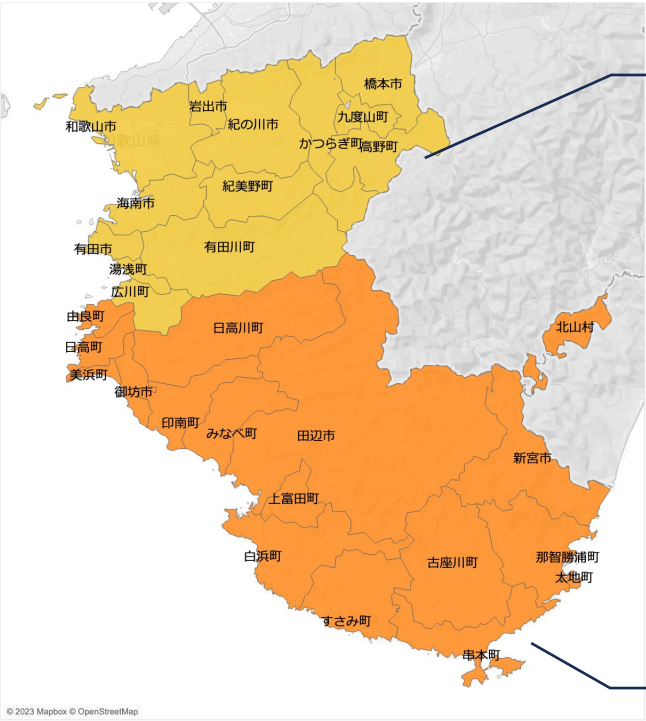
- 本業務開始時点：以下7名を配置
  - DX総括アドバイザー（和歌山県様との連絡調整とプロジェクト全体を総括すると同時に、全ての業務に中心的に関わる役割）：2名
  - DX専門アドバイザー（各分野において、それぞれの専門性を発揮して市町村を支援する役割）：4名
  - 補助スタッフ（役職名：業務補佐スタッフ）：1名
- 5月1日：補助スタッフ（役職名：業務マネージャー）1名を追加配置
- 7月24日：紀北・紀南の分担決定

DX総括アドバイザー

DX専門アドバイザー  
(BPR担当)

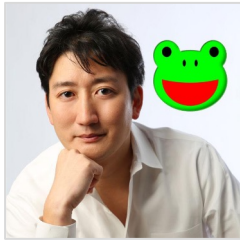
DX専門アドバイザー  
(情報システム担当)

補助スタッフ



紀北

紀南



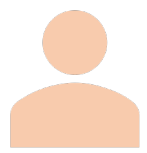
菅原 直敏  
合同会社CoCo  
Socialwork 代表社員



元山 文菜  
株式会社リビカル  
代表取締役



井上 英幸  
(一社)九州テレコム  
振興センター 主席研究員



森 亮二  
業務マネージャー



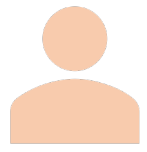
下山 紗代子  
(一社)リンクデータ  
代表理事



石塚 清香  
Code for Japan Govtech  
推進コンサルタント



戸塚 芳之  
グローバルデザイン株式  
会社



河村 治奈  
業務補佐スタッフ



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施



【目的】各団体の現状把握と課題整理を行うこと

【内容】

「よろず相談」については、市町村の現状把握及び関係構築が十分でないことも踏まえ、ケアマネジメントの考え方(括弧内の用語)を応用しながら、アセスメントシート、初回面談、全体相談、分野別相談、任意相談及び評価面談の流れで、継ぎ目のない支援を想定しています。各支援内容については、下図の通りです。

	アセスメントシート	初回面談 (インターク)	全体相談 (全体アセスメント)	分野別相談 (分野別アセスメント)	任意相談 (モニタリング)	評価面談 (エバリュエーション)
時期目安	4月中旬～5月上旬	5月中旬～下旬	5月下旬～7月上旬	8月～10月上旬	11月～12月	1月～2月
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>量的現状把握</li> <li>量的支援分類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽い関係性構築</li> <li>訪問相談準備</li> <li>簡易相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>質的現状把握</li> <li>質的支援分類</li> <li>深い関係性構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>分野別現状把握</li> <li>各種支援</li> <li>関係性構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経過確認</li> <li>各種追加支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り</li> <li>次年度への認識共有と機運醸成</li> </ul>
対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>任意市町村</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全市町村</li> </ul>
参加者		<ul style="list-style-type: none"> <li>総括アドバイザー2名</li> <li>補助スタッフ1名</li> <li>県職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括アドバイザー2名</li> <li>補助スタッフ1名</li> <li>県職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門アドバイザー2名</li> <li>総括アドバイザー1名</li> <li>補助スタッフ1名</li> <li>県職員任意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要とされるアドバイザー(複数対応の場合もあり)</li> <li>補助スタッフ1名</li> <li>県職員は任意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総括アドバイザー2名</li> <li>補助スタッフ1名</li> <li>県職員</li> </ul>
内容	自治体DX全体手順書の4ステップ(縦軸)とDX全般、情報システム、BPR、データ活用の4分野(横軸)の質問シートに記入してもらい定量的な情報を得る。また、自由記入欄を設け、定性的な情報も得る。	総括アドバイザー2名で実施。アセスメントシートの記入を終えた市町村から順次対応。この際に、訪問全体相談の際の段取り等も打ち合わせる。	総括アドバイザー2名で実施。アセスメントシートに基づき、質的な現状把握と分類を行う。また、市町村のもつ課題を整理し、分野別相談につなげる。合わせて、希望する市町村にはDX入門研修も行う。	専門アドバイザー2名(1名はオンライン)と総括アドバイザー1名のチーム編成で分野別の訪問相談を行う。紀北チーム(13市町)と紀南チーム(17市町村)に別れて回る。総括アドバイザーは、既に有している市町村の担当者との関係性を軸に、相談支援が円滑に進むようにコーディネートに徹する。	市町村の希望や必要性に応じて、総括アドバイザー又は専門アドバイザーが相談支援にあたる。追加支援を希望する市町村とアドバイザーが追加支援が必要と考える市町村を主に対象とする。	総括アドバイザー2名で実施。今年度の相談支援の総括と次年度事業への認識共有と機運醸成を行う。
方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>WEBフォーム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則訪問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>原則訪問+オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンライン</li> </ul>



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施

### ア：現状把握のアセスメントシートの作成

#### ■ 設計方針

- 総務省「自治体DX全体手順書【第2.1版】」において規定されている4ステップの内容に沿って各市町村のDXの進捗を比較できるように設問を設計。  
[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000857188.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000857188.pdf)
- 上記に加え、市町村の特徴や重点政策、抱えている問題を尋ねる設問を追加。

#### ■ 調査の概要

	前期	後期
調査名	和歌山県市町村DXに関する調査（前期）	和歌山県市町村DXに関する調査（後期）
調査期間	2023年4月27日～5月12日	2023年12月25日～2024年1月5日
回答収集方法	Webフォーム（Googleフォーム） ※アクセスできない市町村には別途Excelフォームで回答を依頼	Webフォーム（Googleフォーム）
回答者	各市町村のDX担当者	各市町村のDX担当者
設問数	39問	36問
回答率	100%（30/30 市町村）	100%（30/30 市町村）



# (2) 市町村への「よろず相談」の実施

## ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 質問項目一覧

自治体DX全体手順書のカテゴリ	質問	回答方式
	1-1. あなたの自治体における地域の魅力・価値を教えてください。(最大3つ挙げてください)	FA
	1-2. あなたの自治体が抱える地域の問題を教えてください。(最大3つ挙げてください)	FA
	1-3. あなたの自治体の重点政策分野を教えてください。(最大3つ挙げてください)	FA
	1-4. あなたの自治体の内部の問題を教えてください。(最大3つ挙げてください)	FA
	1-5. 総合計画(基本構想、基本計画等)の作成手法	SA
Step0：DXの認識共有・機運醸成	2-1. 基本的な考え方：組織内において、DXに関する定義を行っていますか？	SA
	2-2. DXに関する認識共有・機運醸成の研修を実施したことはありますか？	SA
	2-3. 直前の質問で「実施したことがある」と回答された方にお伺いします。研修の対象者は誰でしたか？(複数回答可)	MA
Step1：全体方針の決定	3-1. DX推進にかかる計画等を策定していますか？	SA
	3-2. 直前の質問で「策定する予定はない」と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。	FA
Step2：推進体制の整備	4-1. DX推進の責任者(例：CDO等)を配置していますか？	SA
	4-2. 直前の質問で「配置している」、「配置する予定がある」と回答された方にお伺いします。DX推進の責任者の属性は以下のどれですか？	SA
	4-3. 「4-1」の質問で「配置する予定はない」と回答された方にお伺いします。DX推進の責任者を設置しない理由を教えてください。	FA
	4-4. DX推進担当部門を設置していますか？	SA
	4-5. 直前の質問で「設置している」、「設置する予定である」と回答された方にお伺いします。部門の組織階層は以下のどれですか？	SA
	4-6. 「4-4」の質問で「DX推進担当部門を設置する予定はない」と回答された方にお伺いします。その理由を教えてください。	FA
	4-7. DX推進のための人材育成・確保方針は策定していますか？	SA
	4-8. DX人材育成のために実施している取り組みはありますか？(複数回答可)	MA
	4-9. DX推進にかかる外部人材を活用していますか？	SA
	4-10. 直前の質問で「活用している」また「活用する予定がある」と回答された方にお伺いします。どのような外部人材ですか？	SA
Step3：DXの取組の実行(自治体DXの重点取組事項)	5-1. システム標準化対象の20業務の対応状況を教えてください。	SA
	5-2. マイナンバーカードの普及促進をしていますか？	SA
	5-3. 行政手続きのオンライン化を推進していますか？	SA
	5-4. AIを活用していますか？	SA
	5-5. RPAを活用していますか？	SA
	5-6. テレワークを推進していますか？	SA
	5-7. セキュリティ対策はどのくらい徹底していますか？	SA
Step3：DXの取組の実行(デジタル社会の実現に向けた取組)	5-8. デジタル田園都市国家構想の実現に向けたデジタル実装の取組の推進・地域社会のデジタル化の取組を行なっていますか？	SA
	5-9. 直前の質問で「行なっている」または「行なう予定がある」と答えた方にお伺いします。どのような取組ですか？	FA
	5-10. デジタルデバйд対策を推進していますか？	SA
Step3：DXの取組の実行(必要に応じ実施を検討する取組)	5-11. BPRを推進していますか？	SA
	5-12. オープンデータ・官民データ活用を推進していますか？	SA
都道府県による市区町村支援	6-1. DXの推進について、県に支援を期待しますか？	SA
	6-2. DXの推進について、どのような支援を県に期待しますか？(複数回答可)	MA
	7-1. 自治体名	SA
	7-2. 所属	FA
	7-3. 役職	FA
	7-4. 回答者氏名	FA
	7-5. 備考	FA
	7-6. 回答者メールアドレス	FA



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（Step0「DXの認識共有・機運醸成」より抜粋）

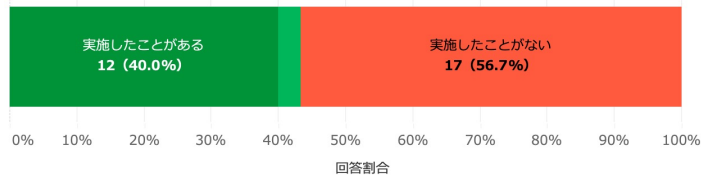
- 研修を実施した団体数は12→**27**団体に増加（**+14**）

0-3.DXに関する認識共有・機運醸成の研修を実施したことはありますか？

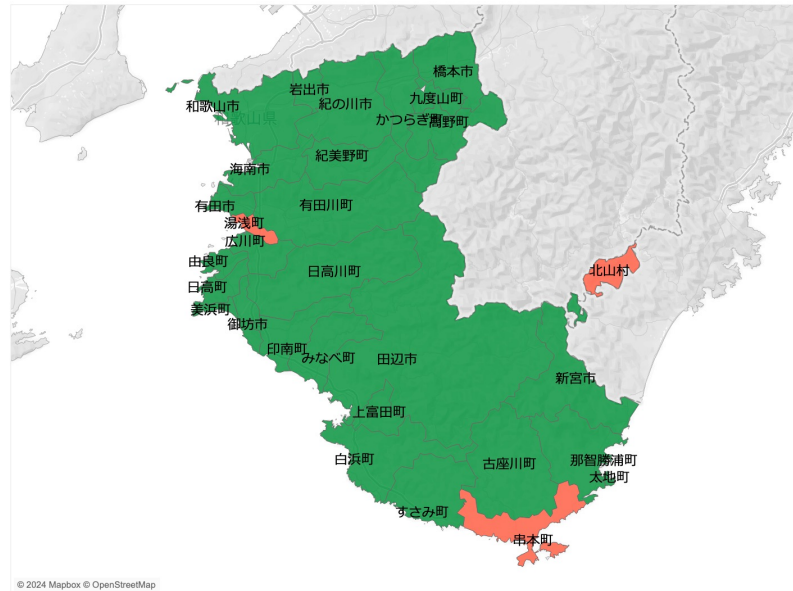
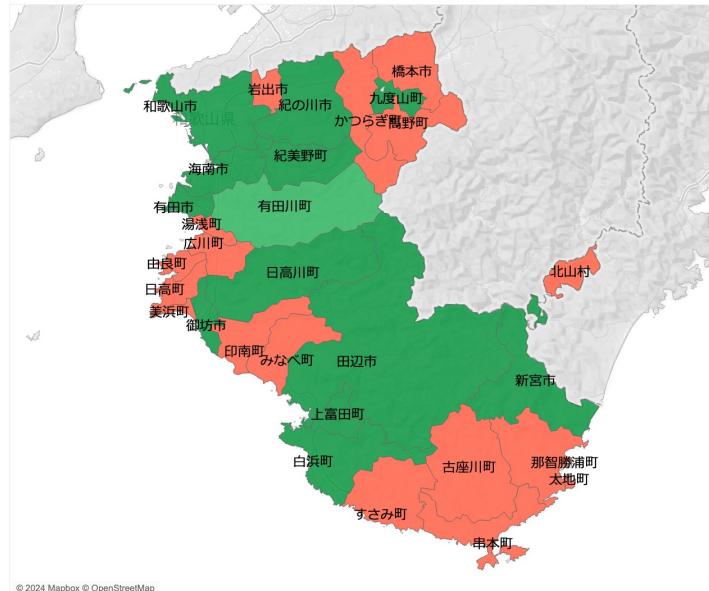
設問の選択

0-3.DXに関する認識共有・機運醸成の研修を実施したことはありますか？

2023年5月時点



2024年1月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

■ 実施したことがある  
■ 全体研修は行っていないが、新採研修で触れたりDX推進本部(部長級等で組織)の中で情報共有を行っている。  
■ 実施したことがない

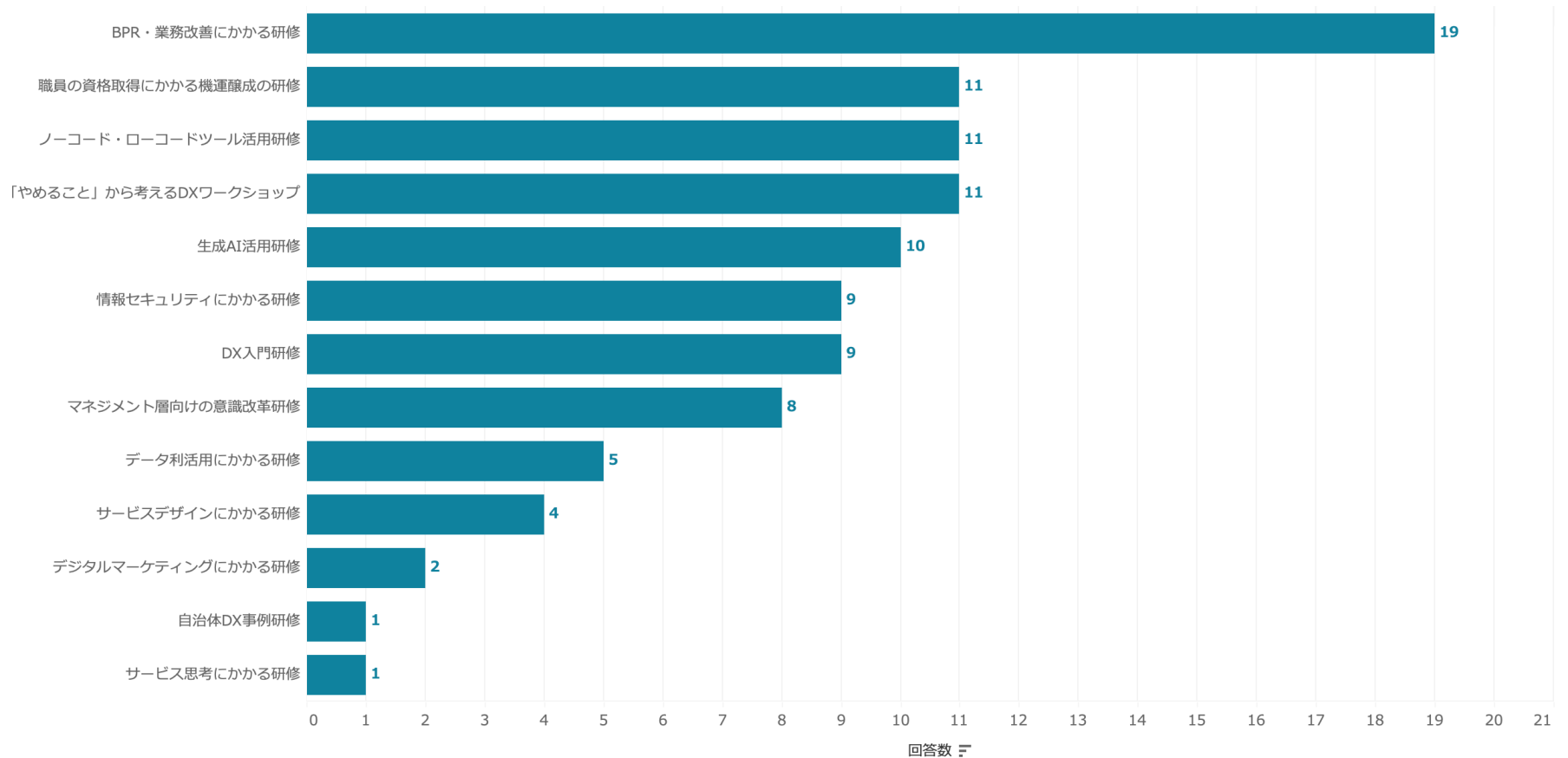
■ 1. 実施したことがある  
■ 2. 実施したことがない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（Step0「DXの認識共有・機運醸成」より抜粋）

0-6.以下の研修テーマのうち、ご所属の組織において実施してみたいものを選んでください。（複数回答可）





## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（ Step1：「全体方針の決定」より抜粋）

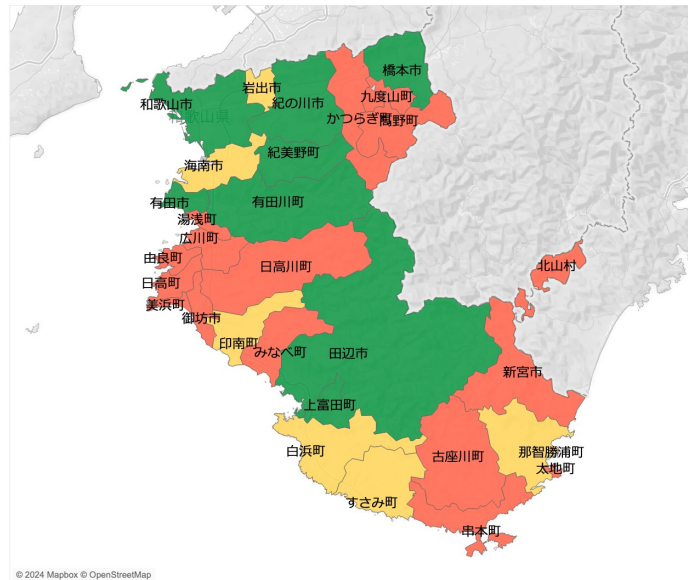
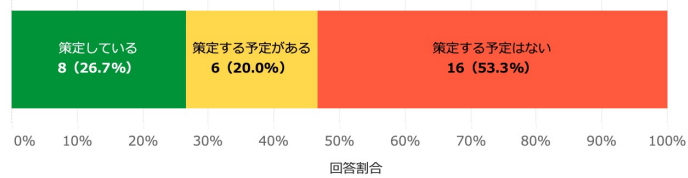
- 新たに計画・指針を策定した団体が**+2**, 策定予定が**+2**

1-1.DX推進にかかる計画・指針等を策定していますか？

設問の選択

1-1.DX推進にかかる計画・指針等を策定していますか？

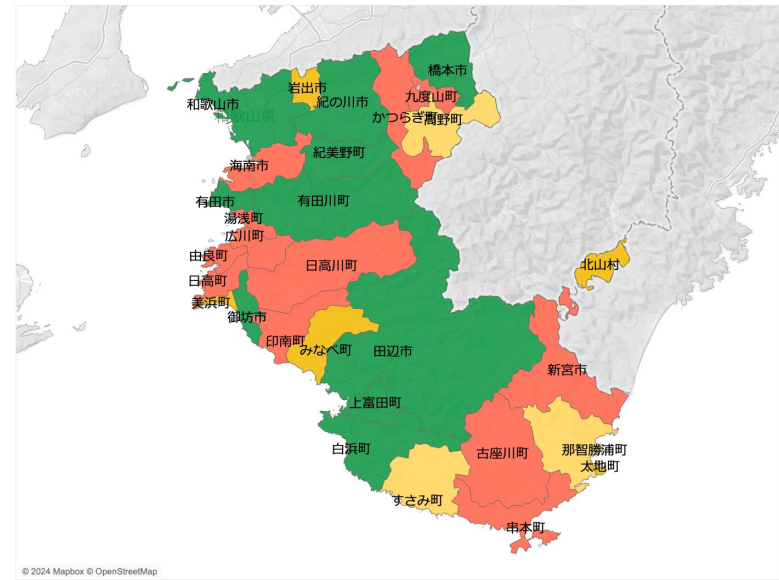
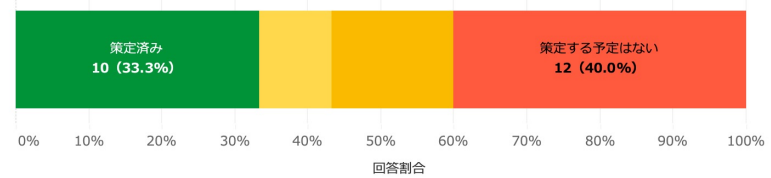
2023年5月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

- 策定している
- 策定する予定がある
- 策定する予定はない

2024年1月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

- 策定済み
- 策定する予定がある
- 時期は未定だが策定したい
- 策定する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（Step2：「推進体制の整備」より抜粋）

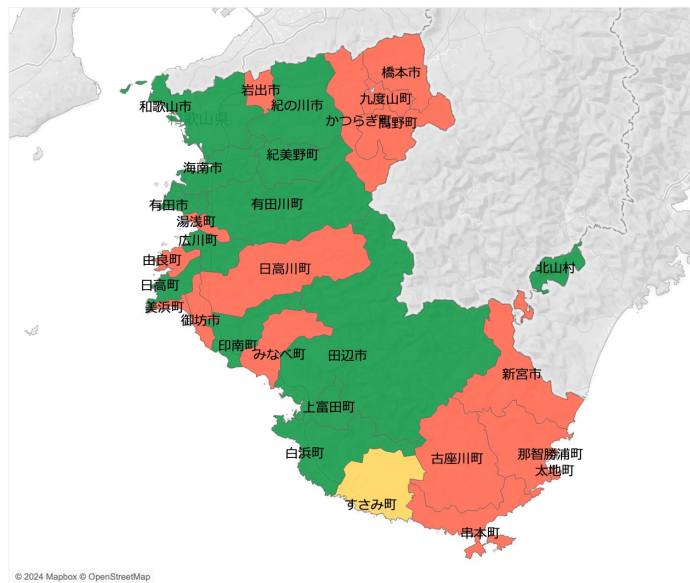
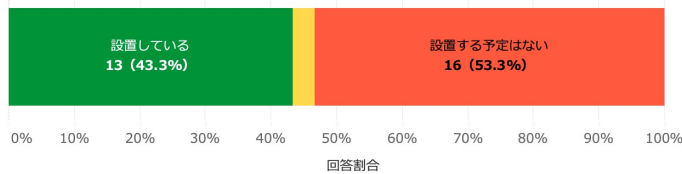
- DX推進担当部門を設置予定の団体数は+2

#### 2-3. DX推進担当部門を設置していますか？

設問の選択

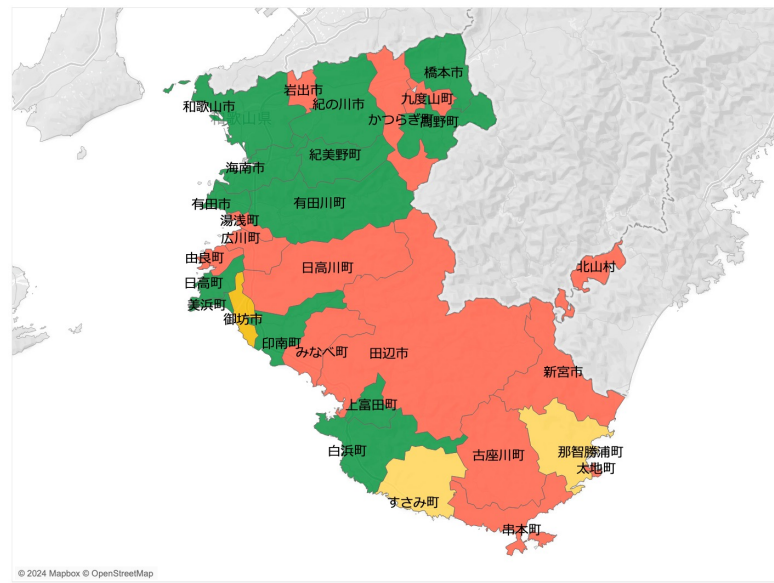
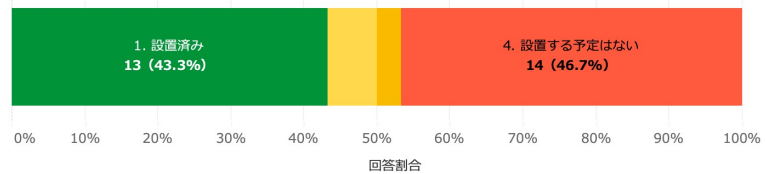
2-3. DX推進担当部門を設置していますか？

2023年5月時点



■ 設置している  
■ 設置する予定である  
■ 設置する予定はない

2024年1月時点



■ 1. 設置済み  
■ 2. 設置する予定がある  
■ 3. 時期は未定だが設置したい  
■ 4. 設置する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（Step2：「推進体制の整備」より抜粋）

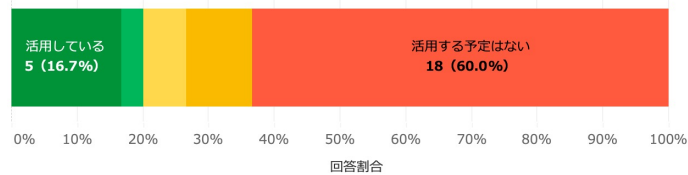
- 外部人材を活用している団体は**+11**

2-7. DX推進にかかる外部人材を活用していますか？

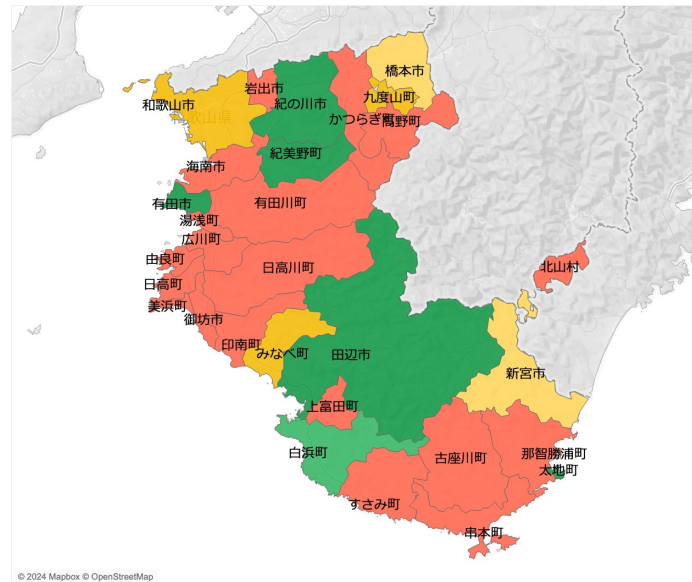
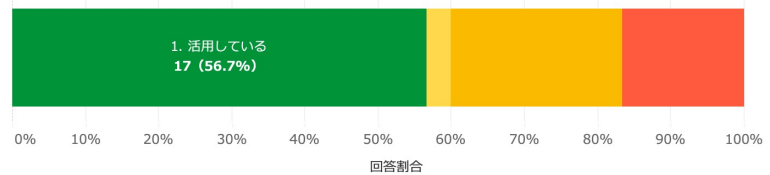
設問の選択

2-7. DX推進にかかる外部人材を活用していますか？

2023年5月時点

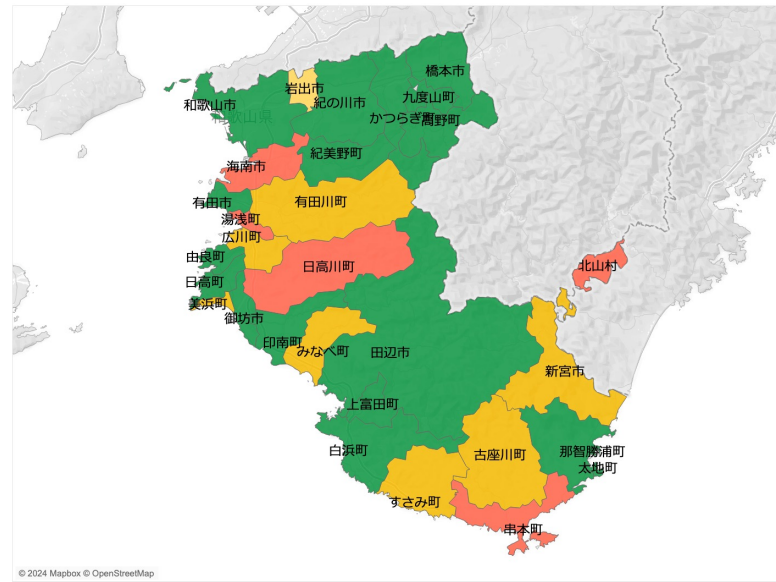


2024年1月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

- 活用している
- 地域活性化企業人制度を利用している
- 活用する予定がある
- 検討はしている
- 現時点では予定はないが、担当としては活用を考えている。



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

- 1. 活用している
- 2. 活用する予定がある
- 3. 時期は未定だが活用したい
- 4. 活用する予定はない





## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果 (Step3: 「DXの取組の実行」より抜粋)

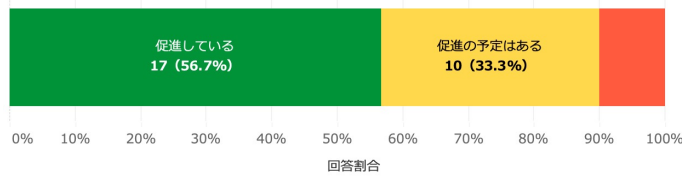
- 行政手続きのオンライン化を推進中の団体数は**17**, 推進予定の団体が増加: **+1**

3-3.行政手続きのオンライン化を推進していますか？

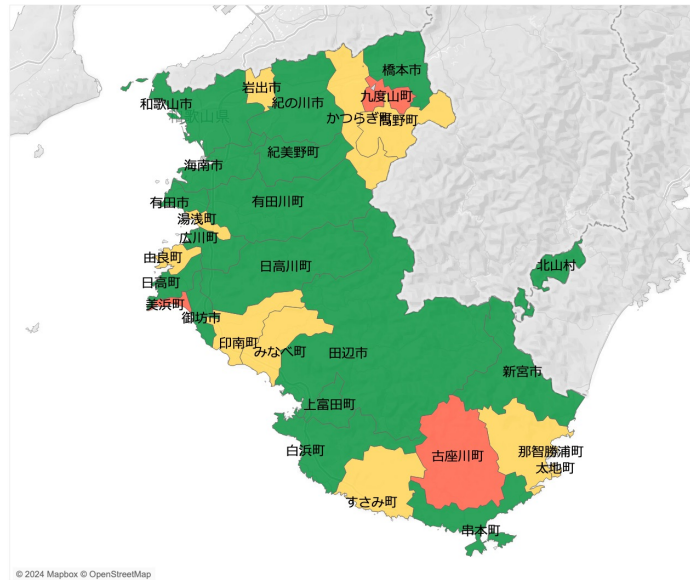
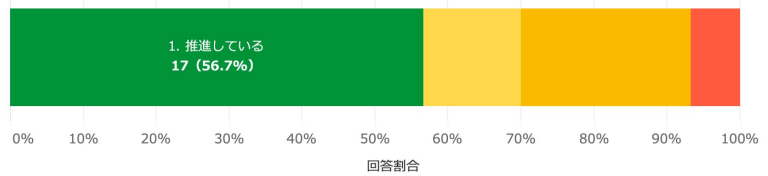
設問の選択

3-3.行政手続きのオンライン化を推進していますか？

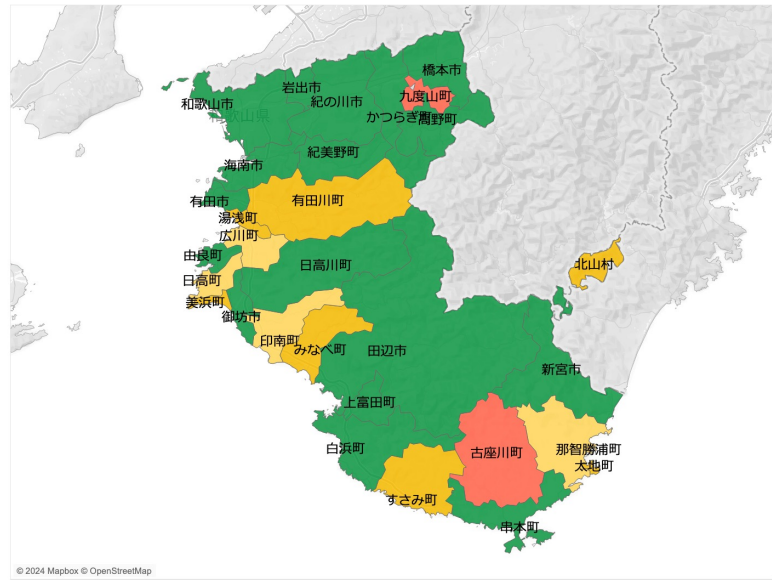
2023年5月時点



2024年1月時点



■ 促進している  
■ 促進の予定はある  
■ 促進する予定はない



■ 1. 推進している  
■ 2. 推進する予定がある  
■ 3. 時期は未定だが推進したい  
■ 4. 推進する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果 (Step3: 「DXの取組の実行」より抜粋)

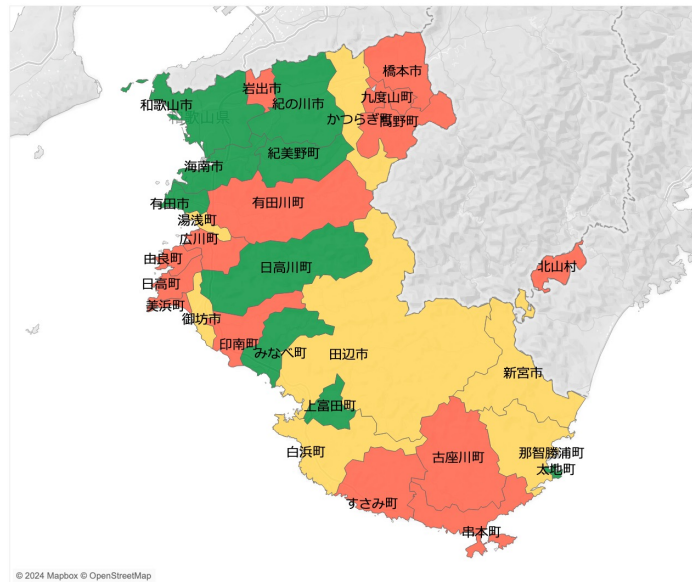
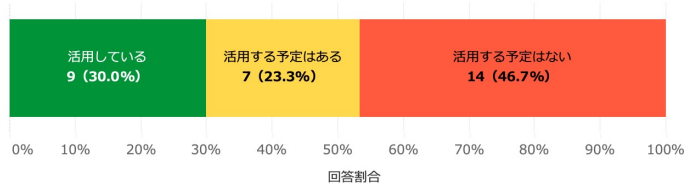
- AIを活用予定の団体数が**+12**

3-4.AI (生成AIを含む) を活用していますか？

設問の選択

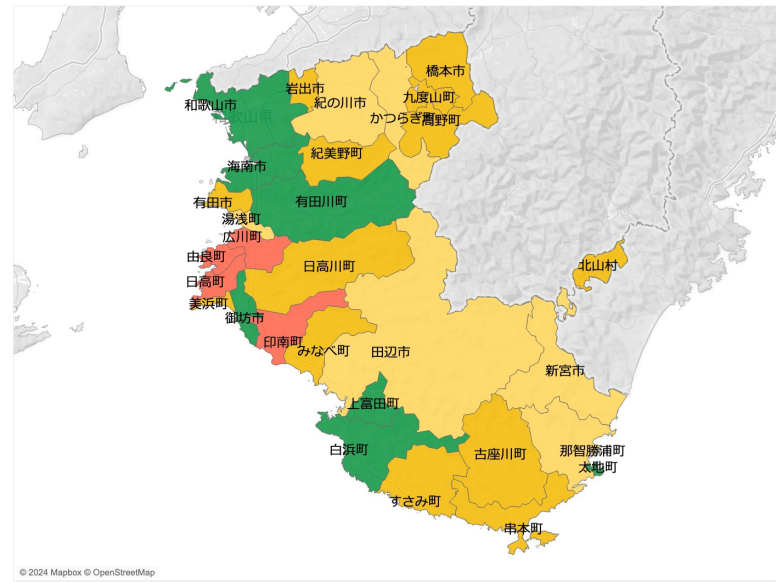
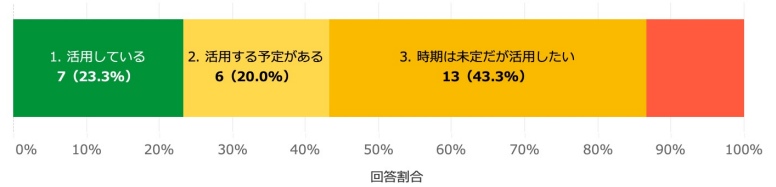
3-4.AI (生成AIを含む) を活用していますか？

2023年5月時点



■ 活用している  
■ 活用する予定はある  
■ 活用する予定はない

2024年1月時点



■ 1. 活用している  
■ 2. 活用する予定がある  
■ 3. 時期は未定だが活用したい  
■ 4. 活用する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果 (Step3: 「DXの取組の実行」より抜粋)

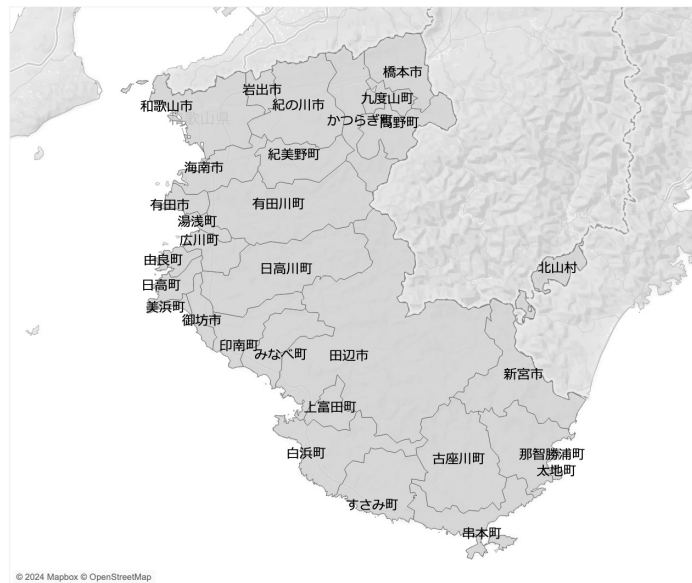
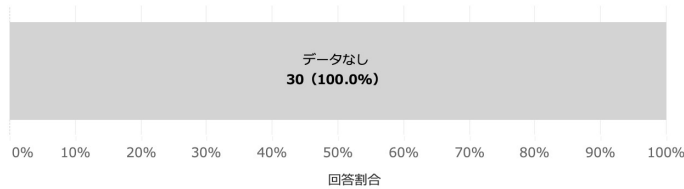
- 議会のペーパーレス化を推進しているのは**7団体**, 推進予定は**13団体**

3-8. 議会のペーパーレス化 (タブレットの導入等) を推進していますか？

設問の選択

3-8. 議会のペーパーレス化 (タブレットの導入等) を推進していますか？

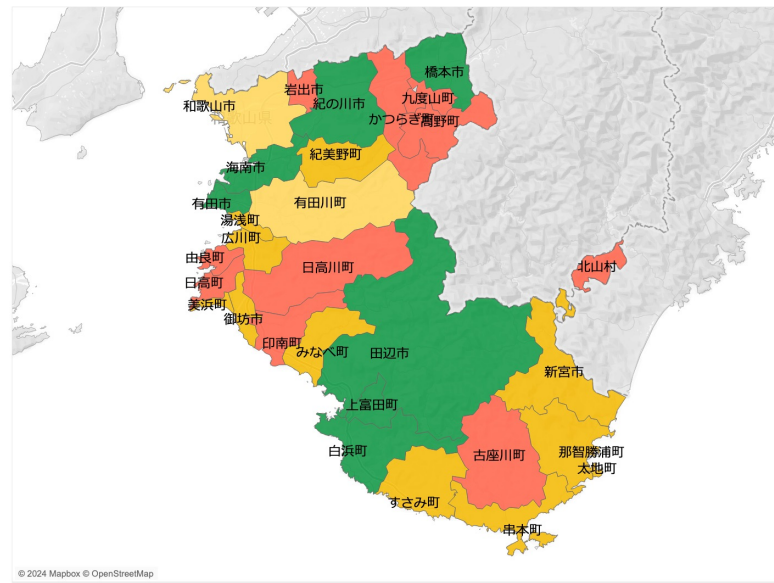
2023年5月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

■ データなし

2024年1月時点



© 2024 Mapbox © OpenStreetMap

- 1. 推進している
- 2. 推進する予定がある
- 3. 時期は未定だが推進したい
- 4. 推進する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果 (Step3: 「DXの取組の実行」より抜粋)

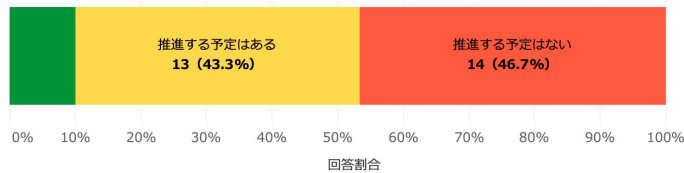
- BPRを推進している団体数は**+4**, 推進予定は**+8**

3-12.BPRを推進していますか？

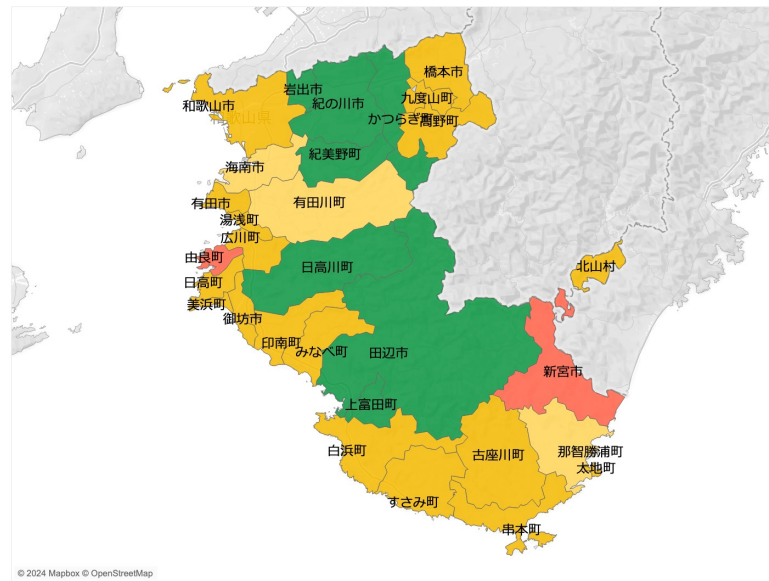
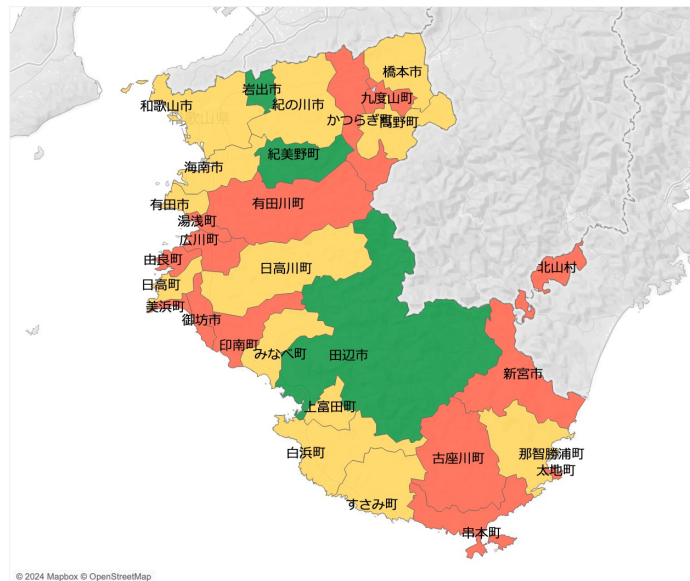
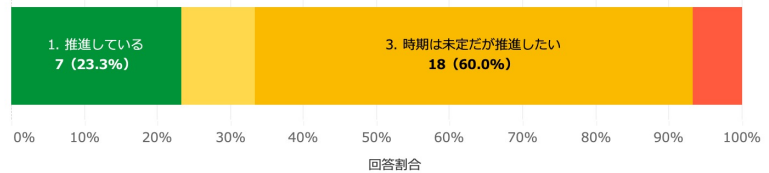
設問の選択

3-12.BPRを推進していますか？

2023年5月時点



2024年1月時点





## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果 (Step3: 「DXの取組の実行」より抜粋)

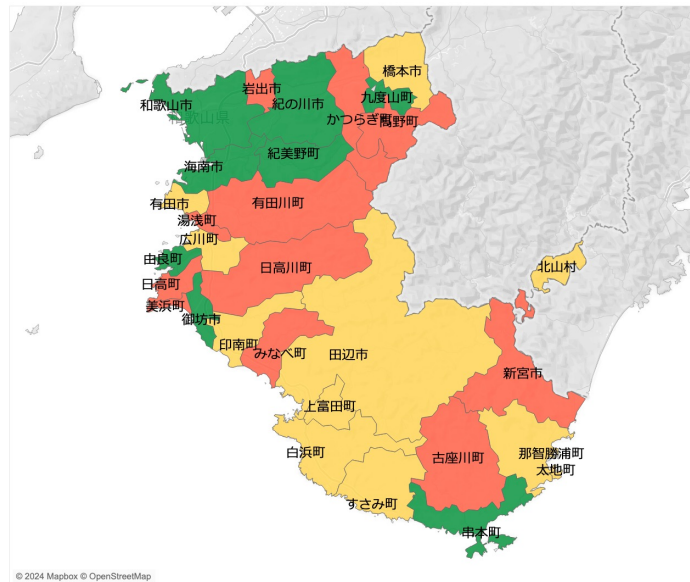
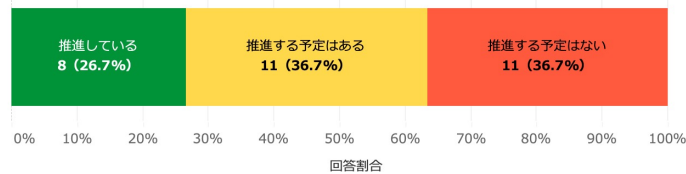
- オープンデータ・官民データ活用を推進している団体数は**+2**, 推進予定は**+2**

3-13.オープンデータ・官民データ活用を推進していますか？

設問の選択

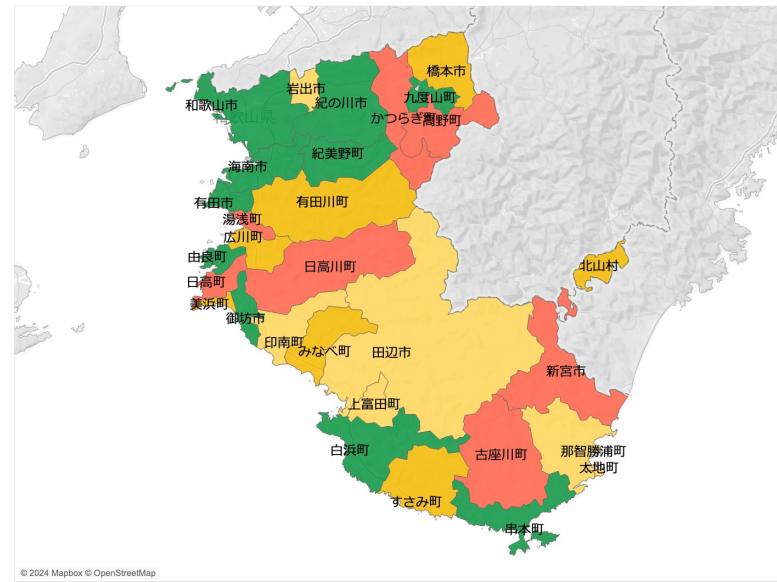
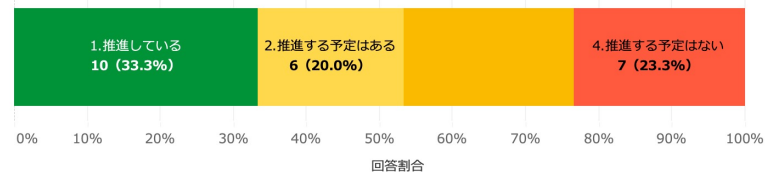
3-13.オープンデータ・官民データ活用を推進していますか？

2023年5月時点



■ 推進している  
■ 推進する予定はある  
■ 推進する予定はない

2024年1月時点



■ 1. 推進している  
■ 2. 推進する予定はある  
■ 3. 時期は未定だが推進したい  
■ 4. 推進する予定はない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

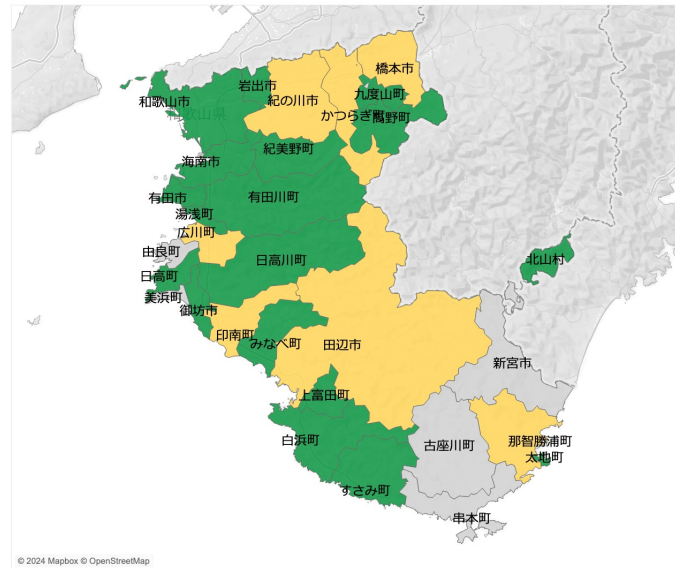
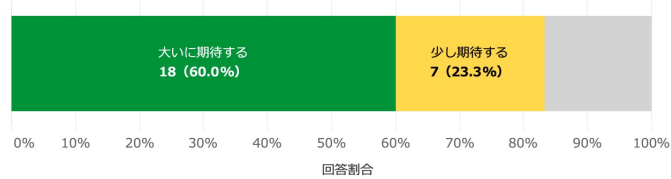
- 結果（「都道府県による市区町村支援」より抜粋）：
  - 県からの支援を「大いに期待する」という回答が**+6団体**

4-1.DXの推進について、県に支援を期待しますか？

設問の選択

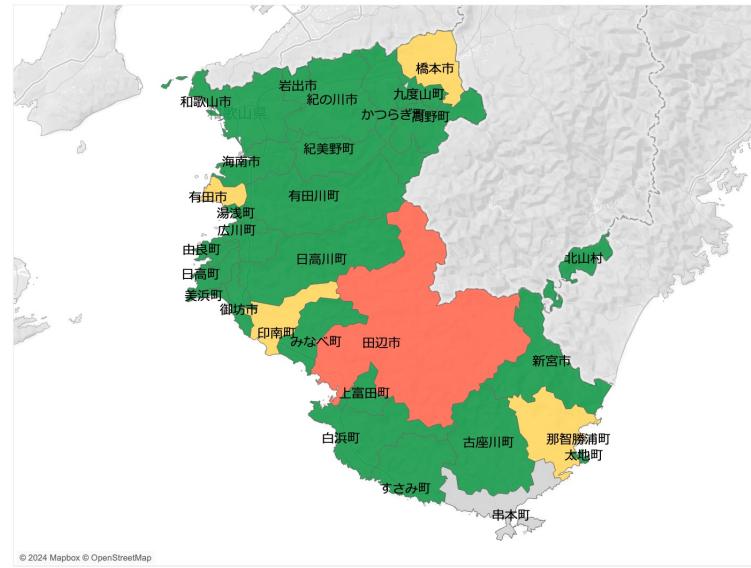
4-1.DXの推進について、県に支援を期待しますか？

2023年5月時点



■ 大いに期待する  
■ 少し期待する  
■ 現時点ではわからない

4-1.DXの推進について、県に支援を期待しますか？



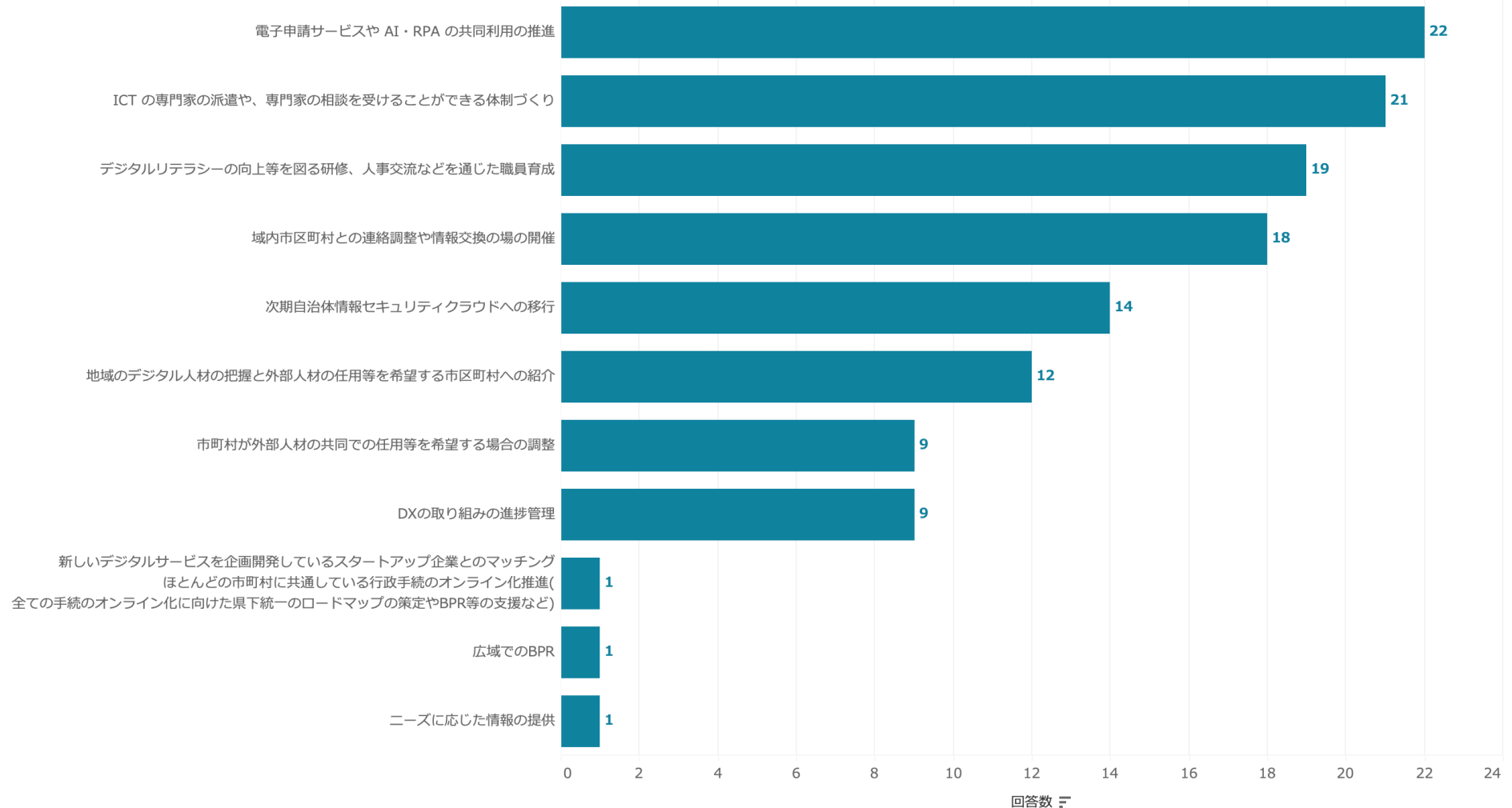
■ 1. 大いに期待する  
■ 2. 少し期待する  
■ 3. あまり期待しない  
■ 5. 現時点ではわからない



## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（「都道府県による市区町村支援」より抜粋）：

4-2.Dxの推進について、どのような支援を県に期待しますか？(複数回答可)

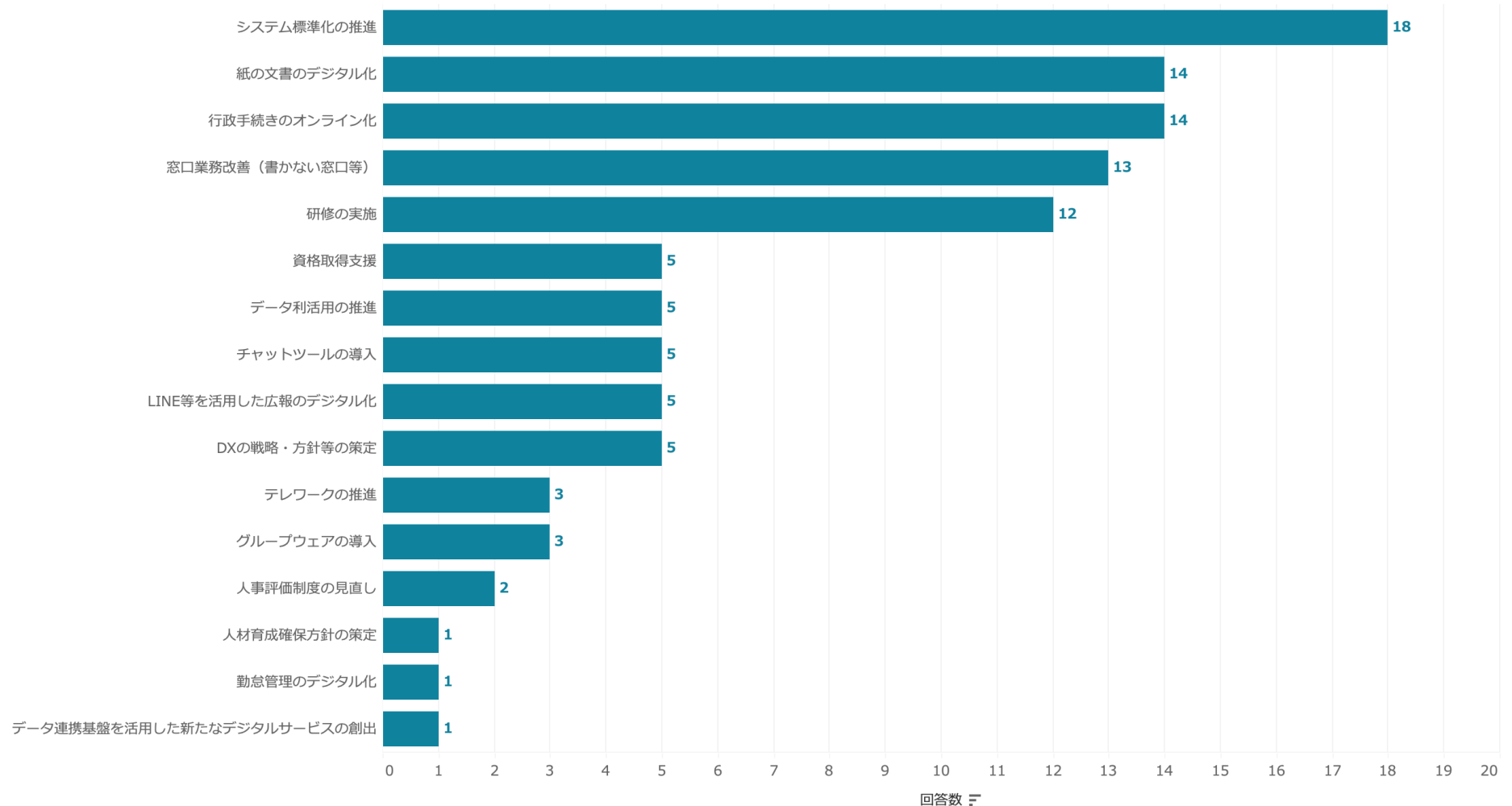




## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 ア：現状把握のアセスメントシートの作成

### ■ 結果（「都道府県による市区町村支援」より抜粋）：

4-3.次年度取り組む予定である（または取り組みたいと考えている）デジタル化にかかる事業は何ですか？（複数回答可）







## (2) 市町村への「よろず相談」の実施

### ア：現状把握のアセスメントシートの作成

#### ■ 総合スコア算出

- 総務省の「自治体DX全体手順書」のSTEP0～3に準拠したフォームと面談等のアセスメントの結果に基づき、本事業における市町村とアドバイザー等との効果的かつ効率的な関わり方に資する支援・協働にかかる分類を行いました。

**R5事業を通じて、外部専門人材が各団体を客観的に分類**

【 4 共創 】 課題を自ら解決し、他自治体を牽引できる団体：2団体

【 3 協働 】 課題について判断し、外部支援を活用できる団体：10団体

【 2 支援 】 課題に対する要求・要件定義など、伴走支援が必要な団体：12団体

【 1 関与 】 課題の整理をはじめ、全体的に関与が必要な団体：6団体

関与

支援

協働

共創

## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 イ：「よろず相談」の実施（初回面談）



### ■ 実施概要

- 期間：2023年5月15日～5月31日
- 方法：オンライン（Zoom）
- 時間：1時間
- 参加者
  - 市町村のDX担当職員
  - 県行政企画課職員
  - DX総括アドバイザー
  - 業務スタッフ
- 内容
  - 自己紹介
  - アセスメントシートの回答内容に基づきDXの詳細な取り組み内容をヒアリング（定性的アセスメント）





## (2) 市町村への「よろず相談」の実施 イ：「よろず相談」の実施（全体相談）

### ■ 実施概要

- 期間：2023年6月14日～9月25日
- 方法：現地訪問
- 時間：1時間～3時間（市町村によって研修時間含む）
- 参加者
  - 市町村のDX担当職員、幹部職員
  - 県職員（行政企画課、デジタル社会推進課、振興局職員）
  - DX総括アドバイザー
- 内容
  - アセスメントシートの回答内容に基づきDXの詳細な取り組み内容をヒアリング（定性的アセスメント）
  - DX推進に関する県への要望をヒアリング
- 特記事項
  - 首長参加：7団体
  - 副首長参加：11団体





## (2) 市町村への「よろず相談」の実施

### イ：「よろず相談」の実施（分野別相談 1回目）

#### ■ 実施概要

- 期間：2023年9月15日～11月8日
- 方法：オンライン（Zoom）
- 時間：1時間
- 参加者
  - ・ 市町村のDX担当職員
  - ・ 県行政企画課職員
  - ・ DX総括アドバイザー
  - ・ DX専門アドバイザー
  - ・ 業務スタッフ
- 内容
  - ・ 分野別（情報システム・BPR）の推進状況のヒアリング及び相談

# (3) DX研修の実施と研修動画の制作 (トップセミナーの実施)



## 【目的】

DX推進に係るトップの認識共有・機運醸成を図ること

## 【内容】

対象：知事及び県内市町村長

開催日時：令和5年5月22日（月） 13:00～14:30

開催場所：アバローム紀の国 2階鳳凰の間

EUがガソリン車容認「e-fuel」とは？ Energy Frontline

広告

働く女性必見！プロが教える上手なお金の増やし方・貯め方とは？

広告

## 和歌山、全県市町村長会でDX勉強

2023/5/22 19:23

[みんなの反応](#) [Twitter](#) [Facebook](#) [B!](#) [Link](#)

産経WEST | ライフ 政治 | 地方自治 ライフ | くらし

地方 | 近畿 和歌山

[< 記事に戻る](#)



DXについて討議する和歌山県の市町村長ら＝和歌山市

出典：和歌山、全県市町村長会でDX勉強会。産経新聞。2023-05-22, THE SANKEI NEWS, <https://www.sankei.com/article/20230522-EQBZHNTDNVNTPCFXJX3ZZHQJUM/>, (参照2023-10-30)

時間	内容	説明者
13:00	開会	司会進行：市町村課長
	知事あいさつ	知事
	地域振興監あいさつ	地域振興監
13:05	講演 「自治体DX入門セミナー ～県と市町村連携の重要性～」	講師：菅原直敏
13:50	意見交換 講演を受けて、各テーブルでフリーディスカッション (6名のDX統括／推進アドバイザーも参加します) ①菅原氏から、意見交換の進め方を説明 ②各テーブルで、講演の感想をシェア ③DXに絞らず、首長がやりたいことをアイデア出し ④県・市町村連携に繋がりそうなアイデアについて意見交換 ⑤各アドバイザーから各テーブルの意見発表～菅原氏の全体まとめ	モデレーター：菅原直敏
14:30	閉会あいさつ	市長会会長

### (3) DX研修の実施と研修動画の制作（個別研修の実施）



#### 【目的】

DX推進に係る市町村職員等の認識共有・機運醸成を図ること

#### 【内容】

- 目的：各自治体の意向を確認の上実施
- 対象：各自治体の意向を確認の上実施（一般職員、幹部職員等）
- 開催日時：2023年6月14日～2024年2月16日
- 開催場所：各自治体
- 開催方法：現地
- 実施団体数：28団体（研修を希望した市町村：28団体）
- 参加者数：963名弱

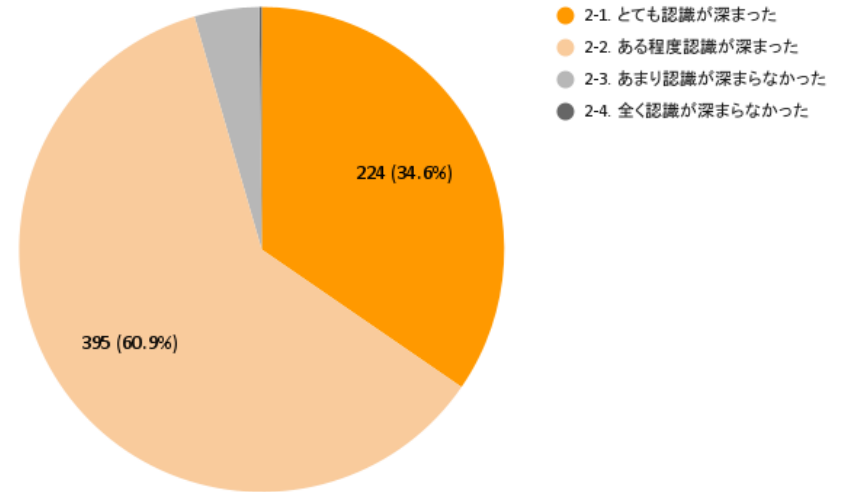




■ 終了後のアンケート結果 (全研修の合計)

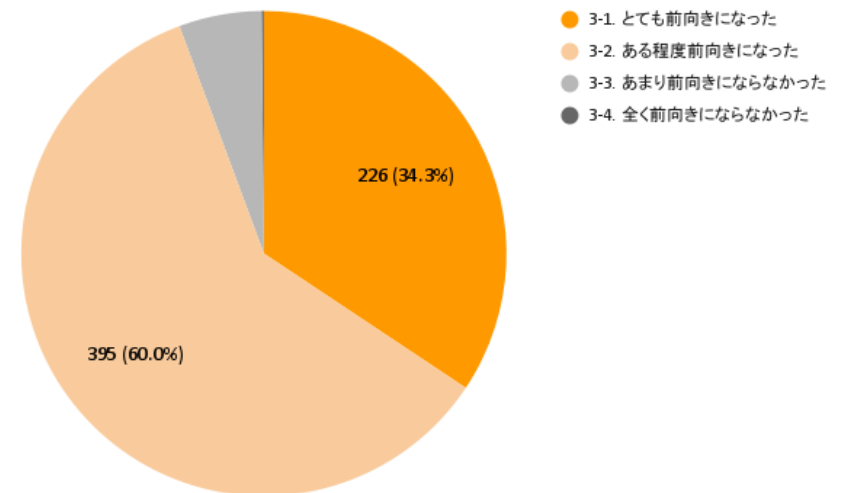
Q: DXに関する認識が深まりましたか？

2-1. とても認識が深まった	2-2. ある程度認識が深まった	2-3. あまり認識が深まらなかった	2-4. 全く認識が深まらなかった
224	395	28	1



Q: DXの推進に前向きになりましたか？

3-1. とても前向きになった	3-2. ある程度前向きになった	3-3. あまり前向きにならなかった	3-4. 全く前向きにならなかった
226	395	36	1





**【目的】**

DX推進に係る市町村職員等の認識共有・機運醸成を図ること

**【内容】**

【自治体DXセミナー入門編1】自治体DXマインド

<https://youtu.be/bHsHfS7bPNA>

【自治体DXセミナー入門編2】DXとは?

<https://youtu.be/0q1qv9b5XQY>

【自治体DXセミナー入門編3】なぜDXなのか?

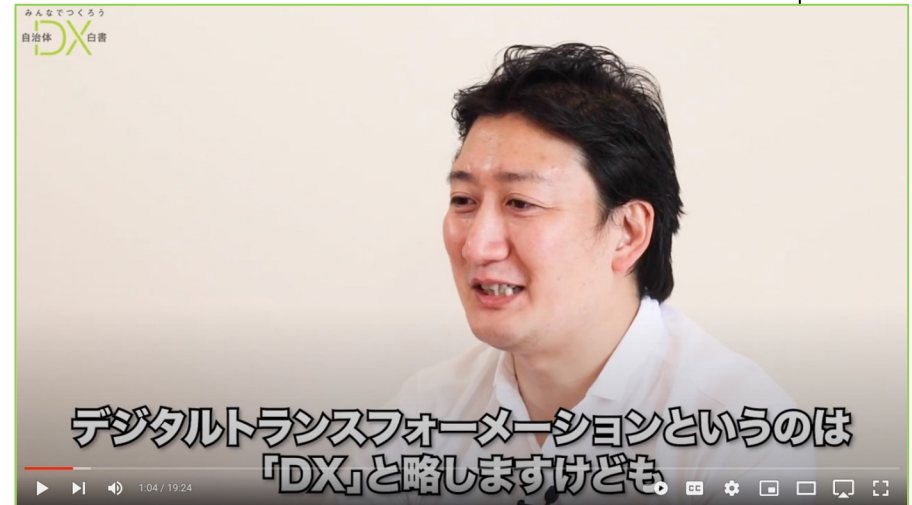
[https://youtu.be/xg\\_oJpsGKSI](https://youtu.be/xg_oJpsGKSI)

【自治体DXセミナー入門編4】自治体DXでできること

<https://youtu.be/rbdPijhKArE>

**【納品時期】**

- 10月末納品
- その他、応用的な研修動画を市町村の要望に応じて適宜提供







## (4) 次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案

【目的】各団体のDXと県・市町村連携の促進を目指すこと

【内容】

次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案については、その実施の是非も含めて、市町村の意向が重要となるため、様々な可能性を考慮して検討しなければなりません。また、次年度予算策定の工程に乗せるためには、夏頃までにはおおよその事業の枠組みを示し、県及び市町村の合意や庁内調整を図らなければならず、検討作業に多くの時間をかけることもできません。つまり、非常に難度の高い業務となります。

そこで、「市町村の意向の反映」と「迅速な提案」という時として衝突する二つのプロセスを円滑に行うため、5月中に、全てのアドバイザーの知見と、それぞれが関わってきた県・市町村連携における共通の取組も踏まえ、「次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案のたたき台」を作成します。

その上で、アセスメントシートの結果や、各市町村へのよろず相談や合同研修の機会を捉え、各種ニーズを汲み上げ、肉付けしていくアプローチを実施します。



※9月以降のよろず相談を通じたニーズ把握についても、その都度のプロセスで反映していきます。

8月より提案資料を提出し、適宜県との協議の下、内容をバージョンアップし、9月初旬には確定内容を提出。また、県の要求に応じて、予算要求資料、市町村支援分類に関する資料等を作成して、提出。



# (5) 自由提案：DX専門アドバイザー(データ利活用担当)の実質配置

【目的】各団体の現状把握と課題整理を行うこと

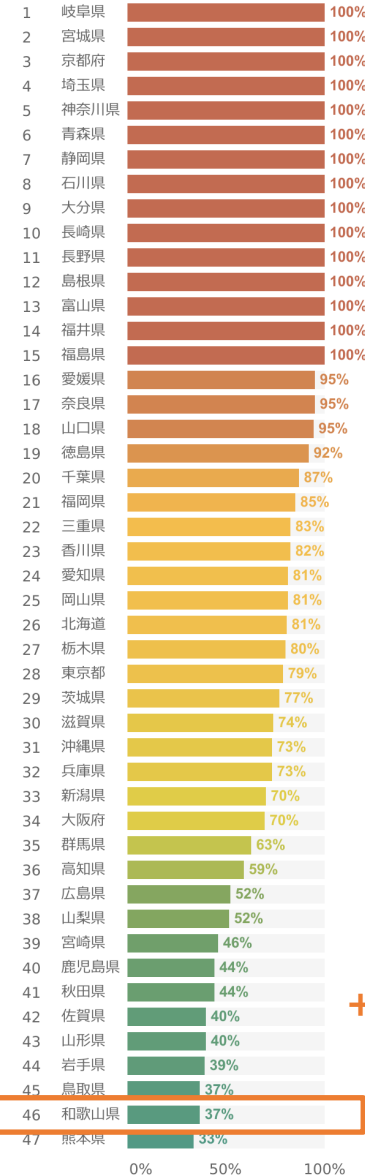
【内容】

DX総括アドバイザーの1名にデータ利活用の専門家を配置することを提案します。これにより、**実質的にDX専門アドバイザー(データ利活用担当)を配置することと同等な効果的かつ相乗的な事業展開**を後押しします。

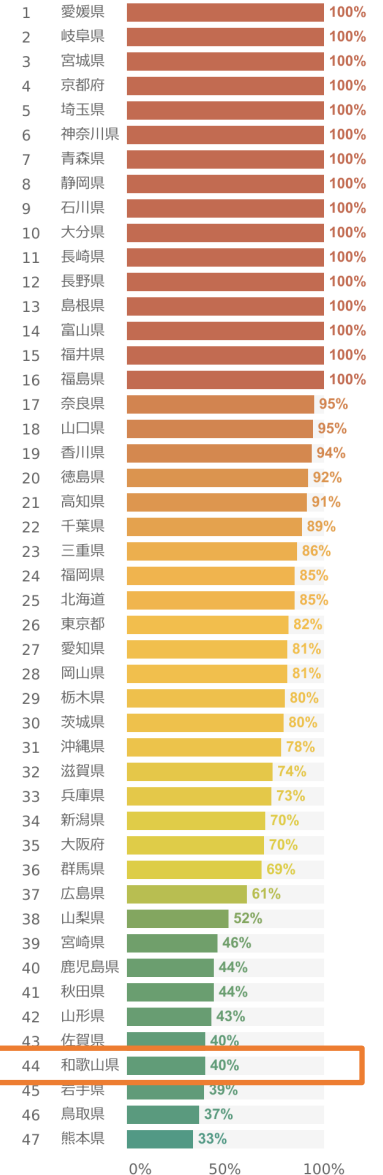
実績：

- DX専門アドバイザー（データ利活用担当）を1名配置。
- 初回アセスメントでのDXの推進状況の現状把握や、本事業における取り組み状況を共有するためのデータ分析・可視化を実施。県・市町村の担当者及び幹部職員の間での認識共有につながった。
- 市町村の要望に応じて、データ利活用に関する相談・助言を実施。市町村におけるオープンデータ、EBPMに向けた内部でのデータ利活用、データマネジメント等における課題の整理や技術的な解説を通して解決に向けた後押しをすることができた。

都道府県別オープンデータ取組自治体の割合（2023年3月9日時点）



都道府県別オープンデータ取組自治体の割合（2023年6月30日時点）



+1団体



データ出典元：CC BY 4.0 デジタル庁 > オープンデータ取組自治体資料 > オープンデータ取組自治体一覧（令和5年6月30日時点）

[https://www.digital.go.jp/resources/data\\_local\\_governments/](https://www.digital.go.jp/resources/data_local_governments/)



■ 市町村DX合同研修（紀北会場）

- 日時：令和5年9月4日（月）  
13:30～17:00（13:00開場）
- 会場：和歌山県庁南別館5階 職員研修所

■ プログラム

- 13:30 - 13:35 開会のご挨拶
- 13:35 - 13:40 専門アドバイザーのご紹介
- 13:40 - 13:55 アイスブレイク
- 13:55 - 14:25 セミナー「チームで進めるDX」
- 14:25 - 14:55 市町村におけるDX事例発表（和歌山市様、紀美野町様）
- 14:55 - 15:05 休憩
- 15:05 - 16:50 ワークショップ：「やめること」から考えるDX
- 16:50 - 17:00 閉会のご挨拶・事務連絡  
（※終了後18:00～懇親会）





■ 市町村DX合同研修（紀南会場）

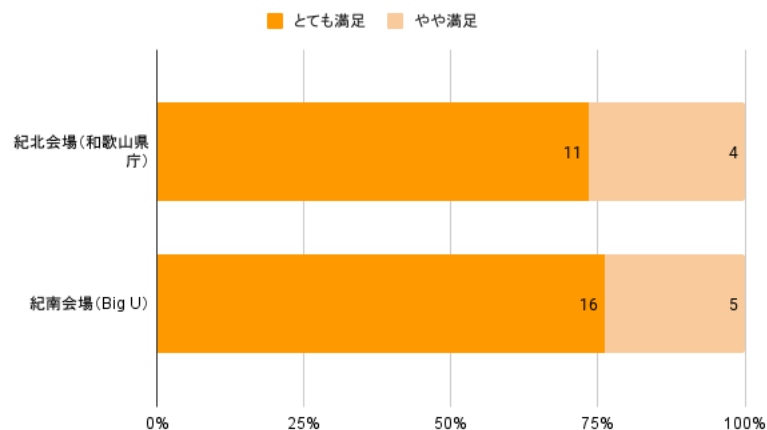
- 日時：令和5年9月6日（水）  
13:30～17:00（13:00開場）
  - 会場：県立情報交流センタービッグ・ユ-1  
階 研修室2
  - プログラム
- 13:30 - 13:35 開会のご挨拶  
13:35 - 13:40 専門アドバイザーのご紹介  
13:40 - 13:55 アイスブレイク  
13:55 - 14:25 セミナー「チームで進めるDX」  
(菅原直敏 DX総括アドバイザー)  
14:25 - 14:55 市町村におけるDX事例発表（田  
辺市様、太地町様）  
15:00 - 15:10 休憩  
15:05 - 16:50 ワークショップ：「やめるこ  
と」から考えるDX  
16:50 - 17:00 閉会のご挨拶・事務連絡  
(※終了後18:00～懇親会)



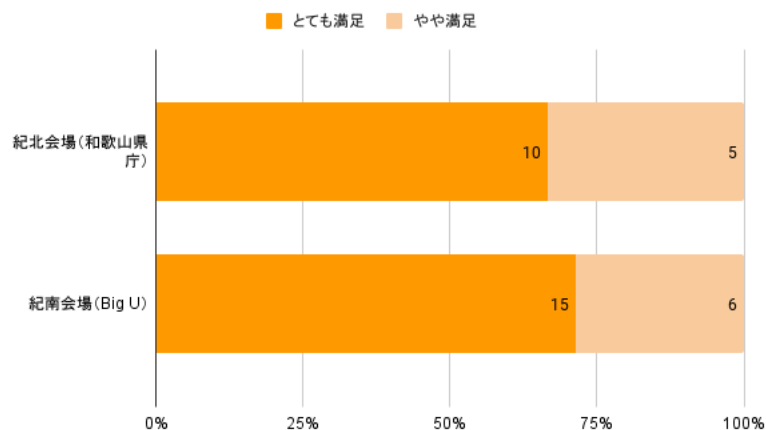


## アンケート結果

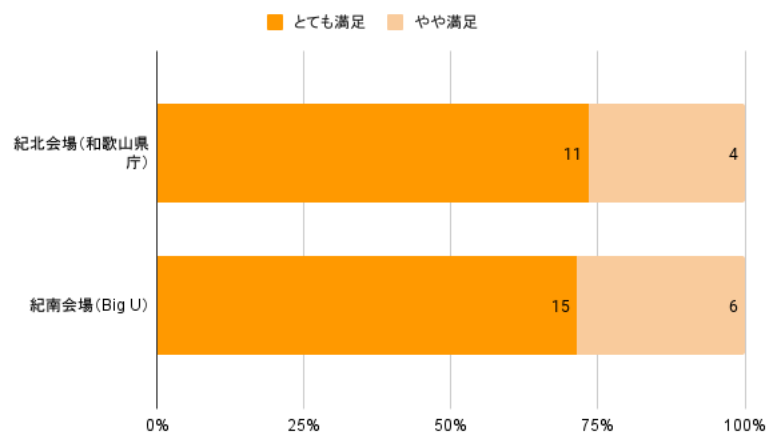
3. 次のプログラムの満足度をお答えください：セミナー「チームで進めるDX」



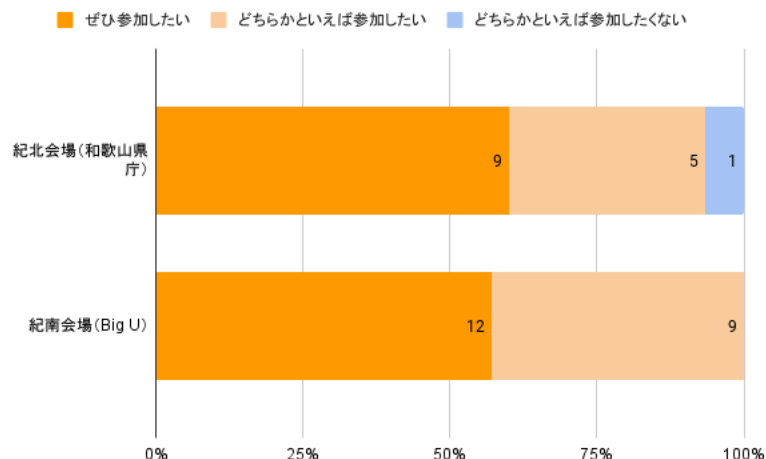
4. 次のプログラムの満足度をお答えください：市町村におけるDX事例発表(紀北: 和歌山市、紀美野町、紀南: 田辺市、太地町)



5. 次のプログラムの満足度をお答えください：ワークショップ「やめること」から考えるDX



6. 今回のような研修に今後も参加したいですか？





## ■ アンケート結果

7. 今後の研修で取り上げてほしいテーマがあれば教えてください。

人材育成

オープンデータ、人材育成（庁内研修など）

ノーコード・ローコードツールの導入事例と展開方法（標準化に伴い必要性が上がるとみえています）

行政サービスに対する、デザイン思考を取り入れたサービス改善について

オープンデータの活用事例

BPR

やめた事例

現状の情報担当の状況と解決案、というかDXの推進体制の提案

職場での紙ゼロに向けて

AI・RPAの活用

書かない窓口に特化した研修があれば参加したいです。

みんなでやめるDXなど

県単位で共同でできる業務について都道府県の関わりについて

BPR

DX業務のロールプレイ

今回の市町村の事例発表は失敗談等も含んでいて参加者の反応もとても良かったので今後も実施してほしい。

今後公開、実用化されそうな未来の話

他府県市町事例の具体的内容  
経過と現状、成果

市町村の希望に添う形であればどんな研修でもいいです。

今後も先進事例をテーマに研修会を開催してほしい。

各市町の先進的な事例を知ることができ、市町村の担当者にとってもいい勉強になったと思うので、今後も市町村同士の情報交換の場になるように実施してほしい。



## ■ アンケート結果

8. 今回の研修に参加された感想やご意見などを自由にご入力ください。

他の市町村の情報部門の担当の方と意見交換できるいい機会になりました。  
ありがとうございました。

自治体職員間で意見交換、情報共有ができたことは良かった。次回も開催してほしい。

皆さんの熱い思いに触れることができ、とてもいい刺激となりました！！

ワークショップは初めての形式で大変有意義で楽しかったです。取り入れやすい形式だったので、今後、自分が主催の際は試してみようと思います。

DX推進を担当する部署に長くいると、デジタルツールの活用実績を作ろうとすることに重きを置いてしまい、どうしてもツール本位の考え方になってしまうと思います。今回の研修のテーマであった「やめることから考えるDX」では、まず課題となる業務を探ることから始めるという内容であったので、改めて業務本位でDXを考えて行く必要があると感じました。「DXは手段である」というのはよく耳にしますが、実際のワークショップ等を通じて伝えることで、より実感できると思いました。

また、今回のワークショップを他の部門（税や国保、福祉など）の県内担当者が集まって実施することで、いろんな分野の業務課題が見えてくるのではないかと思います。ぜひご検討いただけますと幸いです。今回このような研修を開催いただき、ありがとうございました。

県や他都市の方と交流できる良い機会でした。有意義な懇親会も含めて、準備等ありがとうございました。

楽しく話し合えました。ありがとうございました

色々と意見を聞けるためになりました。

非常に有意義な研修でした。当町においても、職員を対象に実施してみたい（みんな何をやたいんやろ〜）ありがとうございました

横の繋がりも出来て、楽しかったです。

楽しかったです！ Logoフォームの組織とかの連絡先交換とかも出来たら良かったなあと思いました。ありがとうございました。

近隣ではない市町の職員の方とお話する機会ができて良かったです。ありがとうございました。

他市町村の職員さんや県の職員さんと話す機会は貴重なのでとても勉強になりました。

他の市町村の取組みが聞いて参考になるところもあって良かったです

研修内容も良かったと同時に、他団体の職員との交流もできたことがとても良かったと思います。

他市町村との交流できたのが良かった

今回の研修で、DXとはデジタル化することだけでなく、業務の効率化や、みなさんとの協力が大切だということを改めて感じました。今日の繋がりを大切にしていきたいです。できることからコツコツやっていきます。ありがとうございました。

菅原さんによるセミナー、田辺市さんの発表を通し、首長の理解を得た（お墨付きをもらう？）のかその方法について知りたいです。

いくつか「やってみようかな」と思われる情報を知ることができました。

今回は他市町村と関わる良い機会であったが、情報交換の時間がもう少しあってもの良いのではと感じた。

## (5) 自由提案：振興局への訪問と連携

和歌山県市町村長会議(5月22日)における知事の振興局重視の見解も踏まえ、県と協議の下、振興局と連携をした事業実施を行う形に変更しました。そこで、県内7つの振興局を訪問し、振興局長等と意見交換及びヒアリングを実施しました。これらも踏まえて、市町村訪問の際には、各振興局の職員が参加する形となり、本事業の円滑な推進だけでなく、県、市町村、振興局の連携も促進されました。

- 6月12日 海草振興局、那賀振興局、伊都振興局訪問
- 6月13日 西牟婁振興局訪問
- 6月14日 有田振興局、日高振興局訪問
- 7月18日 東牟婁振興局訪問



6月12日 那賀振興局訪問の様子



6月13日 西牟婁振興局訪問の様子



## (5) 自由提案：デジタル社会推進課との連携

5月にデジタル社会推進課職員との意見交換の機会があり、行政企画課が推進するDXにおける県と市町村の取り組みにデジタル社会推進課が連携することで、双方に相乗効果が生まれる可能性が判明しました。そこで、全体相談における市町村訪問にデジタル社会推進課も参加する形での連携を実施しました。



7月18日 新宮市訪問の様子



7月20日 和歌山市訪問の様子

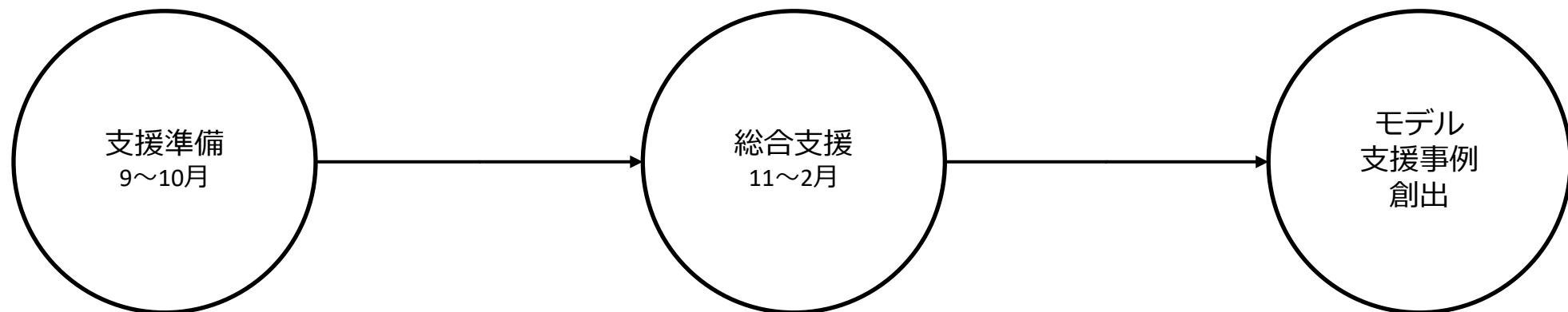
## (5) 自由提案：総合支援の実施



9月までのアセスメント、ヒアリング及び市町村訪問も踏まえて、意欲の高い市町村が現れたため、次年度事業も念頭に、県との協議の下、「総合支援」という新たな支援の枠組みを提案し、実施しています。11月末時点で、訪問総合支援として、和歌山市、由良町、北山村、美浜町、日高町が、制度活用支援として、海南市、紀の川市、紀美野町(訪問総合支援と重複、和歌山市、由良町、北山村等)が対象となっています。以下は、県への提案内容です。

以下の目的のために、総合支援を従前の業務計画に追加して実施することを提案します。

- ①意欲のある自治体と担当者の更なる引上・底上
- ②支援方法の標準化
- ③支援ネットワークの拡充



総合支援を希望することが想定される自治体に声かけをし、実際に希望した場合は、支援準備のMTGを分野別相談とは別に実施。

各自治体の希望に合わせて、総合的な支援を実施。  
写真右上は、北山村での制度活用のアドバイザーを活用した総合支援の様子。

支援内容をモデル化し、他の自治体に共有。



# 全体スケジュール(当初計画)

全体スケジュールは以下の通りです。なお、多種多様なステークホルダーが存在するため、同種の業務の実施経験上、予定通りに進まない又はあえてスケジュールを変えた方がよい場合も想定されます。その際は、本業務の目的に鑑み、想定されることは事前に提示し、柔軟かつ円滑に対応してまいります。

月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月			
		上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬	上旬	下旬		
県会議	首長会議				市町村 長会議																						
	推進部会				部会										部会										部会		
業務全体		契約	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	中間 報告	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG	定例 MTG		
よろず相談	代表総括アドバイザー	ア セ ス メ ン ト シ ー ト	初回面 談	全体相談 (全市町村)						分野別相談(紀南)				任意相談(紀南)				評価面談 (全市町村)									
	総括アドバイザー									分野別相談(紀北)				任意相談(紀北)													
	専門アドバイザー(BPR)①									分野別相談(紀北)				任意相談(紀北)													
	専門アドバイザー(情シス)①													任意相談(紀北)													
	専門アドバイザー(BPR)②									分野別相談(紀南)				任意相談(紀南)													
	専門アドバイザー(情シス)②													任意相談(紀南)													
DX研修	対面研修	トップセミナー			○																						
		合同研修									紀北・紀南																
		訪問研修					訪問研修等 (全市町村)																				
	動画			納品		動画展開																					
R6 事業提案				たたき台 作成				予算要求準備(事業設計等)				部会への提案・意見聴取				予算要求(意見反映等)				仕様検討・調整、公示準備・開始							

実績報告  
検収

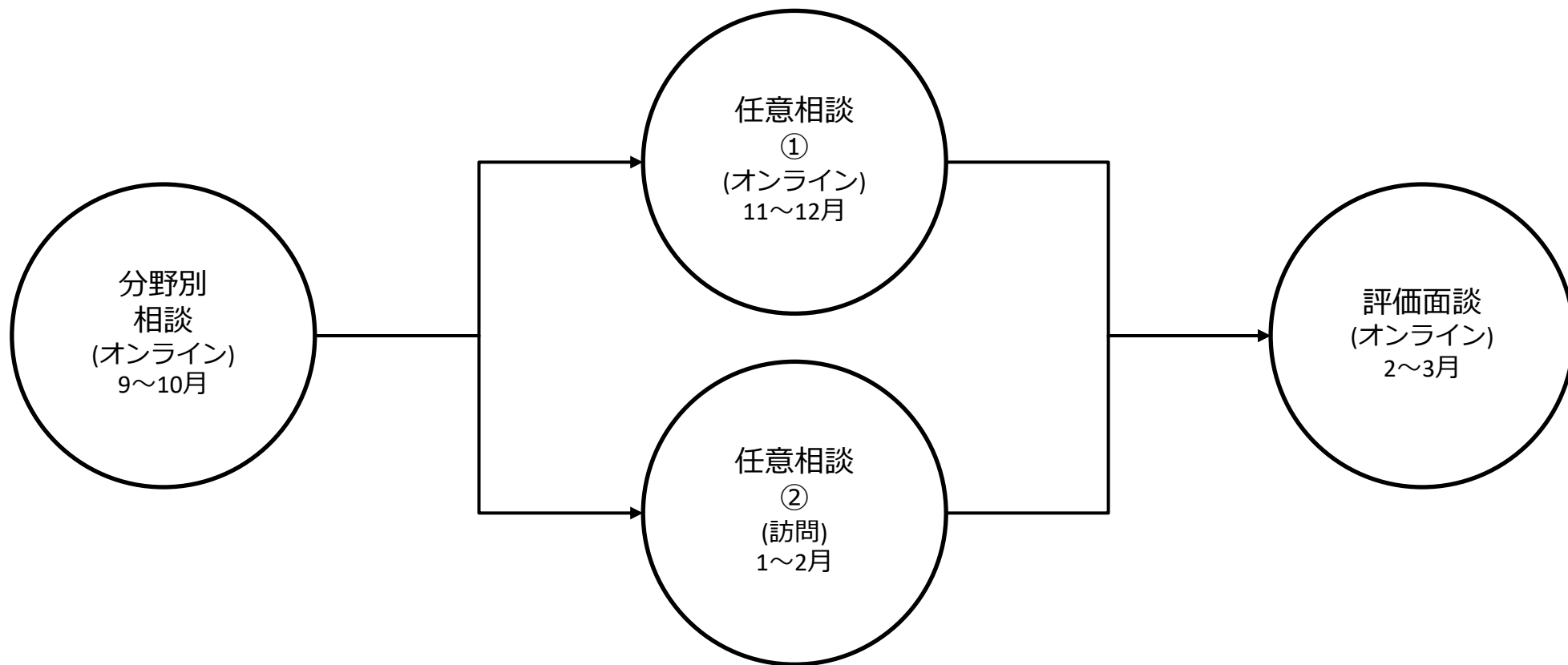
※1 中間報告資料については、県と協議の上、提出。

※2 業務完了後速やかに、業務実施結果及び成果等を取りまとめた「業務活動報告書」を作成し、提出。

※3 その他委託業務の実施にあたり、県が必要と認める資料がある場合は、県と協議の上、提出。

# 変更のご提案：分野別相談→任意相談→評価面談

なお、業務のスケジュールについては、9月11日の県と協議の下、以下のように変更しています。



## 【分野別相談変更点】

- ・訪問はしない

## 【任意相談変更点】

- ・任意相談②として、紀北・紀南の各チームで2泊3日×2回で、最大各8自治体を訪問。

## 【評価面談変更点】

- ・特になし

# 総括



実績(アウトプット)の総括は3つの視点から行います。

## ■ 仕様書に基づく業務

まず、仕様書に基づく業務についてですが、(1)DX総括アドバイザー及びDX専門アドバイザー等の配置、(2)市町村への「よろず相談」の実施、(3)DX研修の実施と研修動画の制作、(4)次年度の市町村行政DX推進事業に係る提案等の全ての業務について、台風の影響を受け、多少の遅れが生じた部分もありましたが、計画通りの実施となっています。特筆すべきは、市町村に任意で実施を依頼していたDX入門研修について28自治体で実施されたことです。このことにより、市町村のDXにかかる認識共有・機運醸成が非常に進みました。

業務開始後自由提案

## ■ プロポーザル時の自由提案

次に、プロポーザル時の自由提案については、DX専門アドバイザー(データ利活用担当)の実質配置と合同研修会の実施を行いました。このことにより、アセスメント等の結果をデータによる可視化し、市町村にわかりやすい情報提供を行なっています。また、個別のデータ利活用にかかる相談・助言等も要望を踏まえ、取り組み始めています。さらに、合同研修については、紀北・紀南の2ヶ所で実施し、ほぼ全ての市町村と振興局の職員が参加しました。

プロポーザル時の自由提案

## ■ 業務開始後の自由提案

最後に、業務開始後の自由提案については、振興局への訪問と連携、デジタル社会推進課との連携及び意欲のある市町村への総合支援を行なっています。

以上より、仕様書に基づく基本的業務を着実に実施し、自由提案及び業務開始後の自由提案を追加することで、当初の想定を上回る実績となりました。

仕様書に基づく業務



成果(アウトカム)の総括は3つの視点から行います。

## ■ DXにかかる認識共有・機運醸成の促進

まず、DXにかかる認識共有・機運醸成の促進です。総務省の自治体DX全体手順書にも記載されている「STEPO 認識共有・機運醸成」について、DX入門研修を実施することで、ほぼ全ての市町村がこの段階をクリアしました。このことにより、全体的な市町村の底上げが完了し、次年度からはSTEP 1～3の取り組みに支援の段階を進めることができます。

## ■ 県及び市町村連携の促進

次に、県及び市町村連携の促進です。県の組織においては、行政企画課、デジタル社会推進課及び各振興局が連携することで、多種多様な視点で市町村支援にあたる体制が整い始めました。また、合同研修により市町村間の横連携が促進されています。これらの実体的なつながりに、次年度以降チャットツール等を整備することで、本格的な県と市町村の連携を行う前提条件が整いました。

## ■ 市町村の自発性の促進

最後に、市町村の自発性の促進です。認識共有・機運醸成が想定以上に促進された結果、自発的に次の段階に進もうとする自治体や積極的に相談・助言を求める自治体が現れ始めました。自発的な自治体を伸ばし、モデル化する支援を行うことで、良い事例と影響を県内市町村に展開する端緒となりました。

以上より、本業務の目的である「DX推進に係る市町村職員の認識共有・機運醸成を図り、各団体の現状把握と課題整理を行うことで、各団体のDXと県・市町村連携の促進を目指すこと」について、おおよそ達成されただけでなく、次年度に向けたプラス $\alpha$ の支援に業務を進めることができている。



個別の市町村においても、各種支援の成果が生まれ始めています。以下、主な成果をご紹介します。

- 議会研修を行ったことで、認識共有・機運醸成が促進され、視察先がDXの先進自治体に変更され、議会へのタブレット導入も確定した。(白浜町)
- 「書かない窓口」に関する相談があり、窓口BPRアドバイザーの専門家を紹介した結果、実際にコンタクトを取ってアドバイザーの申請と取組を進めている。(上富田町)
- よろず相談を契機として、田辺市の取組(DX塾等)を他の市町村に共有する取組が始まった。成果発表会においては県内の他自治体の参加もあり、県内先進事例の共有の契機となっている。(田辺市)
- 5月22日に開催された和歌山県市町村長会議のワークショップ等が契機となり、生成AIの活用に向けた研究会が発足し、生成AIガイドラインが策定された。同ガイドラインを本業務において県内市町村に展開した結果、他市町村からも分野別オンライン面談の中でAIの相談が寄せられるようになった。(和歌山市)
- 初回訪問調整時には「研修不要」と回答されていたが、訪問をきっかけにDXの重要性を幹部職員含めご理解頂くことができ、やはり職員向けの研修を実施したいというリクエストをいただいたり、分野別オンライン面談にも「勉強したいから」という理由で課長や副町長にもご参加いただけるようになった。(美浜町)
- 資格取得の促進：入門研修の際に、IT関係の資格取得を促し、職員有志のグループを作った結果、資格取得者が生まれ始めている。(県及び複数の自治体)
- 首長及び幹部職員の高いコミットメント：5月22日の市町村長会議での講演等の影響もあり、訪問時やオンライン相談時に、首長や幹部職員が参加する事例が1/3以上の自治体で見られました。(複数の自治体)
- 制度活用支援：昨年度まで和歌山県は国の各種アドバイザー制度の活用が最も少ない県の一つでしたが、総合支援を行うことで、今年度内に制度活用をして、取り組みを進める自治体を創出しています。(複数自治体)





訪問時に、首長・副首長との意見交換を実施しました。DXの推進においては、首長、幹部職員等の高いコミットメントが重要となりますが、首長の本音を聞く機会もあり、首長・副首長と担当のみなさんの意思疎通を円滑にする役割も担うことができました。

## 【首長・副首長との意見交換を実施した自治体】

紀美野町(左下)、紀の川市、かつらぎ町、高野町、有田川町、広川町、御坊市、美浜町(右下)、印南町、白浜町、新宮市、那智勝浦町





白浜町では、2023年5月に町長、7月に町議会(写真左下)、2024年2月に副町長を含む幹部職員(写真右下)が総括アドバイザーの認識共有と機運醸成に基づく研修を受講しました。これにより、町政の意思決定に関わる全ての関係者が同じ認識を持って、デジタル化を検討する土壌が整いました。既にいくつかの変化も現れており、7月の研修を契機として、町議会観光建設農林常任委員会の7名の議員が総括アドバイザーが最高デジタル責任者を務める磐梯町の議会のペーパーレス化の取組等を視察し(写真右下)、白浜町議会でのタブレット導入が推進されました。



白浜町の事例以外にも、認識共有と機運醸成を図る取組として、全職員に対して実施した自治体や、副首長・全幹部職員に対して実施した自治体等もあります。今後も制度活用等を組み合わせながら、組織内の認識共有・機運醸成を進めていきます。



2023年9月に、紀北・紀南の2会場で県・市町村合同研修を開催しました。その際に実施した「やめることから考えるDX」ワークショップが好評であったため、各自治体より実施依頼が多数寄せられました。

現場の業務を起点に具体的な改善策が提案され、幹部職員が講評に加わることで、実現に向けた第一歩になった自治体も少なくありません。どの会場でも参加者の笑顔が絶えなかったことが印象的でした。

また、テーブルファシリテーターを職員の方に務めていただき、ワークショップの内製化に向けて進んだ自治体もありました。

各自治体で実施した際のポイントは以下の通りです。

- 各自治体の要望に応じて対象者を選定(一般職員のみ、管理職との混在等)
- 副首長、課長等幹部職員による講評
- 本事業のアドバイザーに加え制度活用による外部アドバイザーがテーブルファシリテーターとしてサポート

## 【実施自治体】

岩出市、紀の川市、海南市、  
九度山町、高野町、有田川町、  
御坊市、由良町、  
みなべ町、すさみ町、  
古座川町(写真左)、  
那智勝浦町、太地町(写真右)





白浜町議会(2023年7月)と高野町議会(2024年1月、写真下)において、町議会へのDX入門研修実施の依頼があり、対応させて頂きました。両議会とも、議員の皆さんの発意から始まったため、熱心に聴講頂いただけでなく、活発な意見交換が行われました。議員の皆さんも、全国の事例だけでなく、県内自治体の現状も知ることができたため、奮起の材料になったようです。執行部からは、同じ認識の下、議会審議を行えることは非常に大切である旨のお声も頂いています。





DX担当課の職員だけでなく、原課の方々にもご参加頂き、普段のお悩みごとの相談にのる「よろず相談会」を、橋本市、かつらぎ町(写真右下)及び上富田町で開催しました。外部の人材が第三者的に原課の相談にのること、担当課のみでは確認できなかった課題等も顕在化し、各種解決への道筋をお示しする等、有意義な取り組みとなりました。

令和5年度和歌山県市町村行政DX推進事業に係る人材確保・育成支援業務

デジタル技術は手段であって  
目的ではない  
みんなにやさしい 😊🐸🥳

## デジタル化よろず相談会


行政、地域、社会のデジタル化が推進される中で、本市においてもデジタル化を推進しています。一方で、各原課の皆さんにおかれましては、事業や業務のデジタル化を推進にあたって様々なお悩みや課題を抱えていらっしゃると思います。  
そこで、今回、和歌山県と県内市町村のデジタル化にかかわるアドバイザーの皆さんを及びして、原課の皆さんのデジタル化にかかわるあらゆるお悩みのご相談を行う「デジタル化よろず相談会」を開催することになりました🥳

気軽に申し  
込みください

**開催日時** △月〇〇日 9時～11時  
(①9時～9時半、②9時半～10時、③10時～10時半、④10時半～11時)


**開催場所** 第1会議室

**申込方法** □口までご連絡ください。




**元山 文菜**  
DX専門アドバイザー(BPR担当)

株式会社リカル代表取締役  
(株) サクラレバに入社し、商品企画部プロダクトマネージャーとして活躍。2008年、富士通(株)に転職し、営業管理業務のプロセスアウトソーシング(事務処理代行)やプロセス改善など歴任。2017年2月に独立起業(株)リカル代表取締役。バンクオフィス業務全般に対するBPR(ビジネスプロセスリエンジニアリング)コンサルタントとして活動。BPOやRPA)の導入支援。組織目標を明確にし、各業務を属性別に分析、適切な業務設計および組織構造を構築することで、経営効率の向上、利益体質の相違を設計する。自治体に向けたセミナー研修など幅広い活動中。BPR認定番号 00680231。ビジネス・プロセス革新エンジニア。共著に「業務改善の問題地図 ～「で、どこから変える?」～」などあり、様々な記事に執筆中。大企業で働くこと(技術評論家) 人をこわなく仕事を教える! 仕組みを愛用してイノベーションを起こします。



**井上 英幸**  
DX専門アドバイザー(情報システム担当)

(一社)九州テレコム振興センター 主席研究員  
総務省地域情報化アドバイザー、総務省消防庁災害情報伝達アドバイザー、松本産業株式会社(現・シラノック)情報システム研究所にて日本語処理に関する研究開発業務に従事。その後、宮崎県へ移住し、県内の様々な情報化推進事業に携わった後、2009年に情報系の専門家として、宮崎県庁へ入庁。全庁のIT関連支援業務を中心に、全国でもいち早く自治体クラウド、オープンデータ等に着手。任期終了後から九州圏を中心に多くの自治体に対するデジタル化推進のコンサルティング業務を展開するとともに、2021年度からは宮崎県(参考) デジタル化戦略アドバイザーも兼任。自治体向けの研修実績も多数有する。  
進化のスピードは驚異的! 自治体の状況に応じた柔軟な支援を心がけています。



**森 亮二**  
地方公共団体の経営・財務マネジメント強化事業  
アドバイザー(人材育成担当)

合同会社CoCo Socialwork地方創生マネジャー、和歌山県及び全市町村が進める行政DX推進事業の「和歌山県市町村行政DX推進に係る人材確保・育成支援業務」において、業務マネジャーを務め、30市町村のDXの推進に係る取り組みを進めている。香川県中讃広域行政事務組合の「中讃広域行政事務組合市町村デジタル化に関する協議業務設計支援等業務」において、業務マネジャーを務め、2市3町のDX推進に係る取り組みを行っている。その他、山梨県のDX推進の支援を行っている。公務員のリスクリンク(ITパスポート試験やセキュリティマネジメント試験の受験促進)に係るSNSコミュニティを運営しており、合格者も生まれている。自治体の広域連携によるDX推進に係るワークショップの業務責任者を多数務めると同時に、自身もITスキルアップセミナーとして参加し、職員をエンパワーメントしている。  
自分自身の経験を元に、デジタル化への苦手意識を解消します。

共創法人CoCo Social work



2月14日、和歌山市では、デジタル推進課と行政経営課、人事課の合同意見交換会を行いました。デジタル化を推進するにあたり、行政改革部門や人材育成・人事部門は不可欠ですが、組織規模が大きくなると横連携に課題を抱えることもあるため、合同の意見交換会として設定しました。

アドバイザーが加わることで、各組織の強みと弱みが可視化され、連携のポイントも順次クリアになりました。





9月1日、田辺市が市内DX推進の取組として行っている「DX塾」をオンラインで配信し、本事業を通じて、県内市町村にご案内した上で、県、県内11市町及びアドバイザーが参加しました。田辺市の本取組は市長・副市長等の幹部職員に、職員有志がまとめた提案をプレゼンテーションする先駆的かつ刺激的な取組となっています。

田辺市のご厚意により、優良な取組を県内の市町村に事例として共有することができました。今後も、県内の優良事例を、市町村のご協力を頂きながら、共有していく端緒となりました。

## 4 DX塾

21

### ■ DX塾発表会 (R5)



#### ウェブによる参加

- 和歌山県 行政企画課
- 和歌山県DX（総括・専門・業務）アドバイザー
- 海南市 管財情報課
- 御坊市 情報化推進室・市民課
- 九度山町 総務課
- かつらぎ町 企画公室・総務課・管理情報課
- 日高町 総務課
- 日高川町 総務課
- 美浜町 総務課
- 上富田町 総務課
- 白浜町 総務課
- 太地町 総務課
- 那智勝浦町
- 大阪府泉佐野市
- 長野県駒ヶ根市
- 鹿児島県南九州市



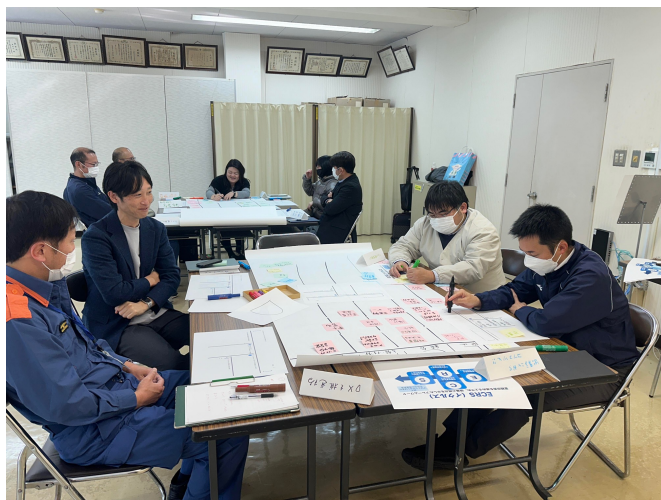
2月15日、広川町では、入門研修を行った後に、参加者が車座になり、アドバイザーや県職員も輪に加わり意見交換会を行いました(写真右下)。管理職と一般職員だけでなく、中平副町長もご参加頂き(写真左下)、最後には講評も頂きました。参加された職員の方々からは、活発な意見が交わされ、充実した意見交換の機会となりました。





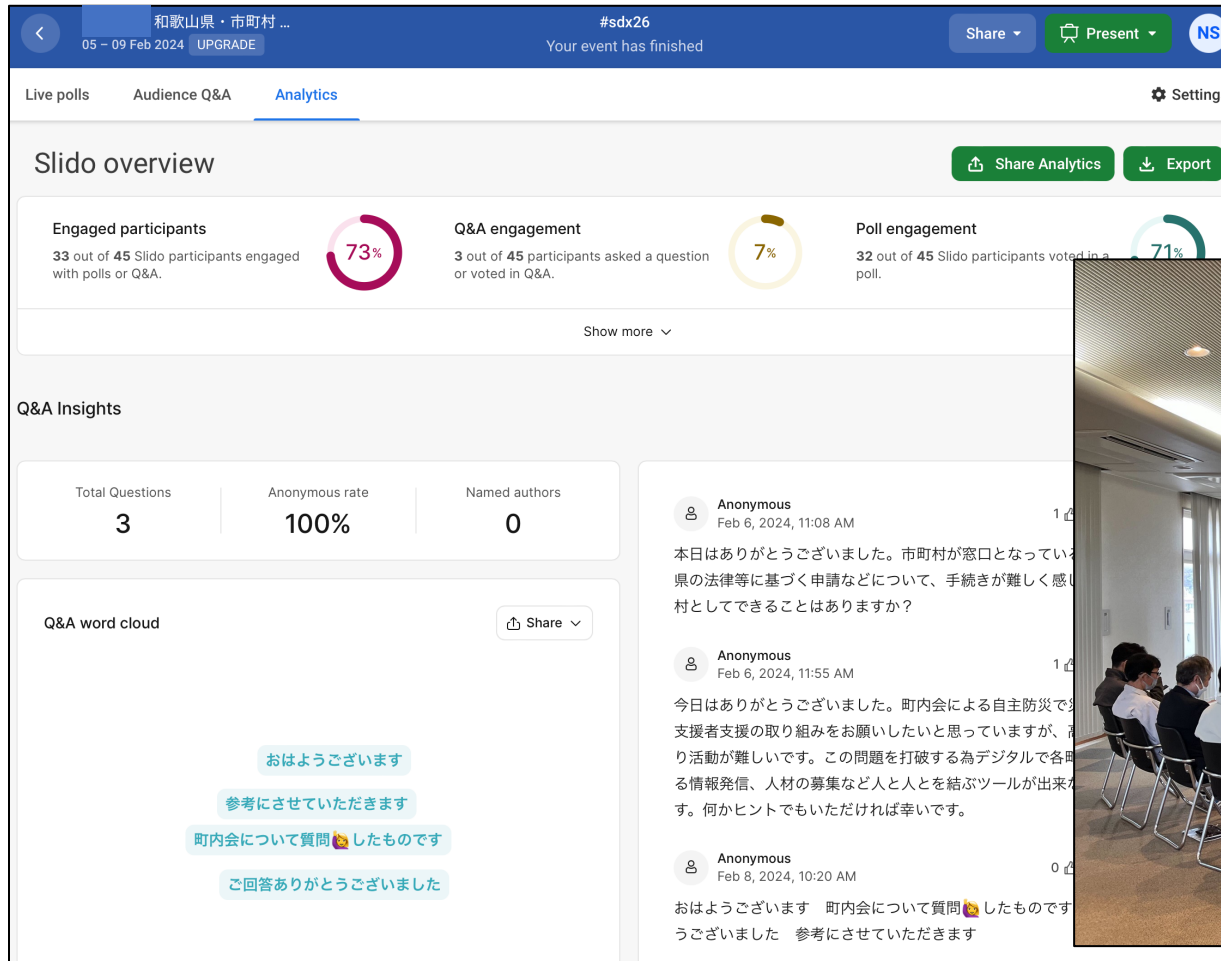


制度活用支援では、20以上の自治体が、地方公共団体の経営財務マネジメント強化事業や地域情報化アドバイザー事業を活用し、本業務以外の専門家の皆さんの知見を活用させていただきました。写真は、由良町(上段左)、九度山町(上段中央)、岩出市(上段右)、那智勝浦町(下段左)、すさみ町(下段右)





支援にあたっては、様々なお役立ちツール(Slido、Canva、ChatGPT、X-mind等)を活用するだけでなく、職員のみなさんにもご紹介してきました。関心を持った職員の中には、実際の業務に取り入れ、効率的な活用をしている人も増えています。右下の写真は、広川町でSlidoを活用する様子。





DX入門研修以外にも、市町村の要望に応じて、各種研修を実施しました。新宮市、北山村(写真左)、有田川町ではAIにかかる研修、和歌山市(写真右)ではサービスデザインに関する研修を行いました。





その他、各アドバイザーは県内30市町村全てを隈なく訪問させて頂きました。可能な限り、担当の職員の皆さんにご紹介頂いた飲食店で食事し、宿泊したことで、様々な発見もありました。時には担当の職員のみなさんと懇親を深め、会議室ではお伺いできないお話も支援に役立っております。さらに、ゆるキャラが参加してくれたり、御燈祭等の伝統行事に参加したりと、可能な限り地域を知ることにも努めました。写真は、海南市(写真左下)、新宮市(写真右下)。





最終面談の際に、本業務の率直なご感想・ご意見を担当職員にお伺いしましたので、一部抜粋します。全体的に後むきな感想は一つもなく、業務の満足度は高かったものと推察されます。ただし、一部、訪問準備に手間取った自治体から、業務フローの改善を求めるご意見や次年度事業に向けた要望を頂きました。また、県の役割への感謝や期待の声も聞かれました。

- 「研修を通じて、職員の認識共有と機運醸成が向上しました。研修を全職員に聞いてほしいです。」、「想定以上の事業でした。」
- 「(当初)なんかやるんやろな〜→今：正直ここまでやってもらえるんだ！！すごい!」、「職員のみみんなも刺激になったはず!!」、「やってよかった。期待以上。」
- 「事業自体は続けてほしい。」、「DXに対する動機づけをしている最中。これを引き続きしてほしい。」「(ワークショップについて)事前の準備するものをもう少し早く知らせて欲しかった。」
- 「町長への講演が大きかった。トップが変われば、組織が動くから。5月が転機だった。」
- 「自由度の高いフォローをしてくれるので助かります。」、「県が市町村の連携を調整してくれるので助かります。」、「3年目も同じ方向性で県が進めてくれたらありがたい。」
- 「この事業が色々と考え直す機会になった。」、「次年度以降も継続して頂き、実践に繋げたい。」
- 「ありがたい事業だった。欲を言えば、もう少し相談回数があるとよかった。」
- 「正直、素直に助かっています。これをしなアカンを可視化してくれる。」
- 「ワークショップを行ったり、対面だけでなくオンラインでもオープンに話ができて、今までになかった形なので、新鮮で良かった。」
- 「同じ県下の情報職と意見交換をできたのは良い。」
- 「情報共有を迅速にできるチャットツールがあると良い。」
- 「県が(市町村協働の取組について)旗を振ってほしい。そうすれば、庁内にも展開しやすい。」